

開催日 令和4年4月19日（火）

場 所 ： 如 水 会 館

令和4年
統括支部会議議案書
定例支部会議議案書

東京都社会保険労務士会
千代田統括支部
千代田支部

令和 4 年 統括支部会議、定例支部会議次第

1. 開 会 （司 会 総務委員長 長森信行 ）

2. 統括支部長・支部長挨拶

3. 議 長 選 出 （議 長 副議長 ）

4. 議 事

(1) 審議事項

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 3 年度事業報告承認に関する件 |
| 第 2 号議案 | 令和 3 年度収入支出決算承認に関する件
(監査報告 監査) |
| 第 3 号議案 | 令和 4 年度事業計画（案）承認に関する件 |
| 第 4 号議案 | 令和 4 年度収入支出予算（案）承認に関する件 |

(2) 報告事項

- | | |
|---------|------------------------|
| 第 1 号報告 | 千代田統括支部 協力委員等について |
| 第 2 号報告 | 令和 4 年度千代田統括支部活動日程について |

5. 閉 会 （ ）

令和3年度事業報告

「ウィズコロナ」と言われ既に2年以上、コロナ禍が広がる前の自由な生活が、まるで幻であったかと思うほど今の制限された生活スタイルに慣れてしまいました。新型コロナウイルスの流行は多かれ少なかれ良かれ悪しかれ世の中に変革をもたらし、我々社労士を取り巻く環境に大きく影響を及ぼしてきました。

在宅勤務やWeb会議が当たり前になり、場所や時間に拘束されない働き方が定着してきました。まさに「働き方改革」がコロナによって促進され、ある意味良い方向に向かってはいるのですが、その反面、人間同士のコミュニケーションが不足し、ハラスメントをはじめとする企業内での人的トラブルが絶えません。また、経営不振や企業統合による人員整理、解雇も多くなり「人」に関する問題が増え続けています。そのため我々社労士は、就業規則等諸規程の作成や見直し、ハラスメント対策の構築、労使トラブルの解決等々の仕事に追われ、当然として雇用調整助成金の業務も減ることなく、まさに八面六臂の活躍を期待されております。

このような時代にあって、千代田統括支部といたしましては、各方面で活躍する会員の皆様のサポートするため、特に情報発信に力を入れてまいりました。研修委員会による毎月1回の研修会の開催、開業部会による実務研修、IT委員会によるミニ研修会の開催、広報委員会による会報の発行とYouTube配信、コロナ禍によりリアルに皆様とお会いすることはできませんでしたが、そんな中でも、各部会・委員会が精一杯の活動をしてくれました。

また、今年度も、区役所、中央労働基準監督署、ハローワーク飯田橋、千代田年金事務所等の多くの行政機関等のお力をお借りして、さまざまな社会貢献を行うことができました。東京労働局及び中央労働基準監督署で行われる労働保険年度更新窓口への臨時労働保険指導員の派遣をはじめとして、コロナ対策専門家派遣、働き方改革推進支援事業専門家派遣、外国人就労・定着支援研修や運行管理者等基礎講習への講師派遣、年金特別アドバイザー、学校教育等行政協力につきましては枚挙のいとまがありません。これも会員のみなさまのご協力のおかげであると感謝しております。

令和3年度事業計画に基づく開業・勤務等部会、各委員会の活動は以下のとおりです。

開業部会の主な活動目的は、会員の実務能力の向上に資するための実務研修や情報提供です。主催する研修会は、法的な知識だけにとどまらず、実務に役立つ企画内容となるようメンバー全員で検討のうえ、令和3年度は、オンラインのライブ配信により10月に「ハローワーク実務セミナー」、12月に「中央労働基準監督署実務セミナー」を実施しました。

さらに、5月には例年実施している臨時労働保険指導員の初心者向け研修をYouTube配信で対象者全員に対して配信することができる環境を整えました。

また、次代を担う新たな会員の育成を目標に、新たな試みとして、新規入会者を対象とした「新規入会者SNS制度」を実施しました。

コロナ禍により令和2年度に引き続き、街頭相談会などが全て中止になったこともあり、行政書士会や司法書士会などの他の士業との交流を深めることはできませんでした。

なお、毎月メルマガ配信している「知って得するお役立ち情報」は、開業部会のメンバーひとりひとりが思いを込めて執筆し、会員の皆様への情報提供に努めています。

勤務等部会では、当支部研修委員会の大テーマ「働き方改革」に沿う内容で9月に情報交流会、12月に勤務等部会主催の研修を実施しました。

情報交流会はZOOMミーティングを利用したオンライン・ワールド・カフェ形式で、コロナ禍状況の共有、副業・兼業やシニア人材活用、法改正の中で特に男性育休についてなど、ブレイクアウトルーム毎に活発な意見交換の場となりました。シニア人材活用については

12月の研修でも取り上げ、3名の勤務等会員より、第一部で勤務先の取り組み状況や課題を発表頂き、第二部のパネルディスカッションでは、更に深掘りして有益な情報を共有できました。70歳就業機会確保時代を迎え、高齢者雇用の制度設計および実務対応について教示頂いた11月の当支部研修と関連付け、実践的な効果を期待する企画となりました。

コロナ禍が続く職場や家庭など公私ともに環境が大きく変わりました。既存の方法にとらわれず、より多くの勤務等会員が社会保険労務士会との関わりを持続できるよう柔軟に進めて参ります。

研修委員会では、「働き方改革」を今年度の大テーマとして、5月以降毎月研修会を計画・実施いたしました。5月は社会保険労務士 榎本あつし氏による「社労士が学ぶ、A4一枚評価制度!」、6月はドリームサポート社会保険労務士法人 社会保険労務士 安中繁氏による「社労士が学ぶ、週4正社員制度導入ポイントと事例紹介」を実施しました。7月、8月は、令和2年10月の同一労働同一賃金の最高裁判決をテーマとして労働側と使用者側の弁護士を招聘し、7月は労働者側の弁護士 梅田和尊氏による「少しだけ前進・同一労働同一賃金 最高裁5判決について」、8月は使用者側の弁護士 近衛 大氏による「同一労働同一賃金の企業実務～判決後の企業対応から学ぶ予防法務～」を開催。9月と10月は、人事評価制度をテーマとして開催し、9月は社会保険労務士 松下直子氏による「人事評価制度の納得度アップのための勘所」と題して初めてZOOMミーティングによる双方向での研修を行い、10月は 株式会社日本能率協会コンサルティング 常任顧問 高原暢恭氏による「人事評価の改革実務」を実施しました。法改正関係で、11月は社会保険労務士 田代英治 氏による「70歳就業機会確保時代を迎えた企業の「高齢者雇用」への対応～高齢者雇用の社内制度の設計および運用の実務対応～」、1月は、千代田支部会員の岩崎仁弥氏による「改正育児・介護休業法についての概要と実務対策」を実施。2月は社労士がよく接する業務委託や一昨年の民法改正の実務を弁護士 黒井新氏による「業務委託契約書作成の留意点と2020年4月改正民法の実務」、3月は昨年に引き続き、株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長 小室淑恵氏をお招きし「次の働き方はどうなるのか～社労士に求められる先手の働き方改革～」と題し、今後の勤務インターバルへの政界の動き等、社労士として先手をうつにはどうしたら良いかについてZOOMウェビナーにてお話しいただきました。当初はリアルとZOOMによるハイブリッド研修を開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大のためリアル開催は中止となりました。年度を通してすべてオンラインによる研修開催となりましたが、会員からは参加し易い等、好評を得ました。

広報委員会の活動は、定例研修会の開催数の増加のほか、開業部会、IT委員会、社会貢献委員会による特別研修会も多数開催されたことにより、コロナ以前にも増して、活発な活動となりました。また、コロナ禍の広報活動として、「千代田統括支部会報の発行」と、新たな事業として「YouTube動画配信」に力を注ぎました。

「千代田統括支部会報」は、令和3年春号より、発行を再開いたしました。研修やイベントなどの活動報告のほか、新しい取り組みとして、「特別寄稿」、「一橋高校年金授業 講師座談会」、「成年後見制度と社会保険労務士」を記事として取り上げたほか、「支部長メッセージの表紙掲載」、「会報アンケート」を実施いたしました。「特別寄稿」は、支部内外に有する様々な優秀な人材に寄稿いただくことを目的とし、春号では岡崎教行弁護士、夏号では向井蘭弁護士、秋号では軽部龍太郎弁護士、新年号では荒井里佳弁護士にご寄稿いただきました。「一橋高校年金授業 講師座談会」については、社会貢献委員会の活動である年金授業を担当講師の目線から取り上げたく「座談会」を実施し、その様子を報告いたしました。「成年後見制度と社会保険労務士」は、当初、臨時記事として取り上げましたが、社会保険労務士が行う重要な社会貢献活動のひとつであることから、現在はほぼ定例記事同様に取り上げております。「支部長メッセージの表紙掲載」は、「会報アンケート」においても好評を博しており、統括支部長の支部活動に対する思いを、広くダイレクトに支部会員に伝える手段として効果を示しました。「会報アンケート」は、まだまだ回答者数が少ない状況ですが、おおよその傾向として、やはり「研修報告記事」は一定の人気があること、また、「支部長からのメッセージ」、「特別寄稿」、「私の愛読書」など、執筆者の思いが現れる記事が目さ

れているなど、興味深い結果となりました。

「YouTube 動画配信」は、本年度の広報活動として最も力を入れている事業であるところ、待望の第 1 回動画配信を前編、後編に分けて、令和 4 年 1 月にアップいたしました。統括支部長へのインタビュー形式で、「社労士が置かれている経営環境」、「支部活動（研修・厚生行事・行政協力）」、「今後の予定」について、配信いたしました。

厚生委員会の主たる任務は親睦旅行会、親睦ボウリング大会、新年賀詞交歓会及び総会後に開催される交歓懇親会の企画運営を通じた、会員の皆様の支部活動への参加勧奨です。令和 2 年度はコロナ禍ですべての厚生行事を中止したことから、今期は初のオンライン行事として 10 月 2 日に「富良野・美瑛オンラインバスツアー」を企画し、多くの厚生行事初参加者を含む 52 名の参加者を得て好表裡に終了しました。本行事の成功を踏まえ、感染第 6 波下での厚生行事開催を模索した結果、第 2 回オンラインツアー（ペルー）を 3 月 26 日に開催し好評を得ました。しかしリアル行事については、秋季の旅行を 3 月に繰り延べて企画したものやむを得ず中止とし、ボウリング大会と賀詞交歓会も開催できませんでした。来期については感染が落ち着いた時期に何らかのリアル厚生行事を開催できるよう、引き続き模索する所存です。

IT 委員会の主な活動は、支部 HP の管理と電子化推進です。会員の皆様への情報発信として HP とメールマガジンの配信はたいへん重要だと思っておりますが、昨年メールマガジンが届かない方がいらっしゃるという配信システム上の不具合が生じたため、新たなメールマガジン配信システムを導入し、不具合を解消しました。同時に、会員の方にとってより魅力的で充実した HP を目指して HP の全面リニューアルに取り組んできました。残念ながら令和 3 年度中のリニューアルは間に合いませんでしたが、できるだけ早い時期のリニューアルを目指して引き続き取り組んでいきます。また令和 3 年 11 月には千代田年金事務所情報交換会を開催し、前半では千代田年金事務所の方から今後の法改正等のご説明をしていただき、後半では参加者の方からいただいた電子化等に関する質問にその場でお答えいただくという有意義な機会をご提供することができました。また、昨年度に引き続き、東京会からの情報についても支部電子化推進員と協同し、メールマガジン等で発信しました。

社会貢献委員会では、地域への社会貢献となるような活動をしており、主に外部の方と関わる事業を実施しています。今年度は主に次の 4 つの事業を行いました。

①千代田区役所での社会保険・労働相談（毎月第二火曜日）は、コロナ感染防止のためタブレットを使い別室待機しながら相談対応する方法で実施 ②千代田区からの受託業務「労働環境モニタリング」は 3 件あり、区内施設を運営する指定管理事業者の労働環境についての調査、報告を行った ③都立一橋高校での年金授業（4 コマ）を実施（昨年度は中止でしたが再開） ④千代田区障害者よろず相談 MOFCA（竹橋パレスサイドビル 1 階）において「発達障害を十分理解している社労士に話を聞こう！いろいろな選択肢、働き方と社会保険」セミナーを開催

委員以外の支部会員にもご協力をいただきました。

総務委員会では、統括支部の事務局としての役割を果たすべく、正副支部長及び委員長間の連絡調整、統括支部会議、統括支部役員会議を円滑に開催するための準備等、また例会、研修会の開催案内や支部会報の発送、加えて統括支部の会計及び会議議事録や統括支部会議議案書の作成など、支部事業全般に携わる役割を果たしてまいりました。また、コロナ過で新規入会者との接点が希薄となる中、千代田支部の活動を知ってもらい、積極的な支部活動への参加、協力を得る事を目的として新規入会者オリエンテーションを 2 回開催いたしました。コロナ過のため対面での開催は出来ませんでしたが、ZOOM ミーティングを活用し、満足のできる意見交換を行うことが出来ました。

行政協力については、例年の、東京労働局及び中央労働基準監督署へ「臨時労働保険指導

員の推薦」を、ハローワーク飯田橋には「雇用保険電子申請アドバイザーの派遣」を、また、日本年金機構と東京都社労士会との運営委託業務である「年金特別アドバイザーの推薦」をしました。千代田区役所には「国民年金相談員の推薦」、「社会保険・労務相談員の派遣」をして区民の相談と社労士の広報活動などを行いました。さらに、厚生労働省、東京都、東京都社労士会へ「東京都新型コロナウイルス感染症に係る休業等支援事業(専門家派遣)」を多く行いました。また、独立法人自動車事故対策機構が行う「運行管理者等基礎講習」へ労働基準法及び「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準等」に精通した講師を派遣したり、一般財団日本国際協力センターが行う「外国人就労・定着支援研修」へ日本の労働環境を教えるために講師を派遣したり、各労務研修への講師派遣も行いました。

これらの事業を順調に実施できたのも、参加していただいた会員の皆さん、企画・運営をしていただいた部会・委員会の協力委員及び委員の皆さん、その他の関係者のみなさまのおかげと心より感謝申し上げます。

なお、具体的な事業内容は以下のとおりです。

1. 統括支部会議・定例支部会議の件

開催日	場所・出席者数	主 な 会 議 事 項
3. 4. 20	如水会館 スターホール 出席者 50 名	審議事項 第 1 号議案 令和 2 年度 事業報告承認に関する件 第 2 号議案 令和 2 年度 収入支出決算承認に関する件 第 3 号議案 令和 3 年度 事業計画(案) 承認に関する件 第 4 号議案 令和 3 年度 収入支出予算(案)承認に関する件 第 5 号議案 支部役員承認に関する件 報告事項 第 1 号報告 千代田統括支部 協力委員等について 第 2 号報告 令和 3 年度千代田統括活動日程について

2. 正副支部長・委員長会議の件

開催日	場 所	主 な 会 議 事 項
3. 4. 20 (2 年度最終 回)	如水会館	協議事項 1. 特別手当の支給要件について 2. HP のサーバーについて 3. 各委員会、同好会の連絡先の HP への掲載について 4. 令和2年度千代田統括支部決算について 5. 本日の役員会議、統括支部会議の進行について 6. その他 報告事項 1. 物品納品について 2. 議案書の内容について 3. 交通費基準について
3. 5. 13 (第 1 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 勤務等部会主催研修について 2. 厚生協力委員の交代について 3. 今年度の労働環境モニタリング実施依頼(3 件)について 4. 一橋高校 年金授業について(6 月・4 コマ実施予定) 5. HP のサーバーについて

開催日	場 所	主 な 会 議 事 項
		6. その他 報告事項 1. 臨時労働保険指導員研修の実施について 2. 勤務等部会主催研修について 3. 本年度の支部研修について 4. オンラインツアーの企画について 5. 支部会報について 6. ZOOM の一括契約について
2. 6. 4 (第 2 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 講師報酬および執筆者謝金について 2. 新規入会者研修会(メンター制度)について 3. IT 委員会協力委員の新規希望者について 4. 支部会報への「成年後見センター東京千代田支部」のレギュラー枠追加について 5. 例会における新規入会者紹介について 6. 今後の例会研修会開催案内の発送について 7. 3/23 の研修会会場について 8. 1/26 賀詞交歓会会場について 9. その他 報告事項 1. 情報交流会及び勤務等部会主催研修会について 2. オンラインツアーの企画検討について(中間報告) 3. メルマガ配信システムの進捗について 4. ZOOM契約について
3. 7. 26 (第 3 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 支部対抗親睦野球大会への参加の是非について 2. 「新規入会者 SNS 相談室」について 3. 9/15 勤務等部会主催情報交流会について 4. 勤務等部会企画小委員会委員1名離任について 5. オンラインツアーの企画について 6. 9/15 研修会の ZOOM ミーティング方式による開催について 7. 千代田区役所区民相談の広告掲載(区報 9 月号)について 8. 新規入会者オリエンテーションの進行について 9. 統括支部役員会議(10 月)の日程と開催方法について 10. 正副支部長委員等会議(9 月)の日程について 11. その他 報告事項 1. 新メルマガ配信システムの説明
3. 9. 7 (第 4 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 勤務等部会企画小委員会 1 名就任について 2. 千代田年金事務所からの制度改正説明会の依頼について 3. 支部 HP リニューアルに係る HP コンセプトについて 4. ボウリング大会開催の時期について 5. 広報委員会協力委員希望者 2 名について 6. 社会貢献委員会協力委員 2 名希望者について 7. 第1回統括支部役員会議(10/7)の進行について 8. その他(今後の協力委員募集について)

開催日	場 所	主 な 会 議 事 項
		報告事項 1. 業務相談 SNS 制度、ハローワークセミナーについて 2. 勤務等部会情報交流会の実施について 3. 令和 4 年 1 月研修について 4. 10/2 オンラインツアーの申込状況について 5. 参加費等の支部口座振込について
3. 10. 4 (第 5 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 開業部会協力委員希望について 2. 12 月の勤務等部会主催研修について 3. 10/2 オンラインツアーにおけるクイズ大会景品代の支出について(実施報告を含む) 4. IT 委員会協力委員希望者について 5. 千代田年金事務所ミニ講習会について 6. 上半期会計報告について 7. 統括支部会議について 8. その他(中央労基署による講習会について) 報告事項 1. 情報交流会実施について 2. 3/23 ハイブリット研修の進捗状況について 3. 10/2(土)オンラインバスツアーの開催について 4. 新規オリエンテーションのアンケート結果について 5. 千代田区モニタリングの実施について 6. MOFCA セミナーについて 7. 政連報告 8. 仮払いの追加について
3. 10. 27 (第 6 回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 統括支部役員と東京会執行部との意見交換について 2. 12/8 勤務等部会主催研修プログラムについて 3. 1 月のモフカでのセミナー講師料について 4. 広報委員の会報担当者への謝金増額について 5. 12/23 開催予定の正副支部長委員長会議開催の是非について 6. 賀詞交歓会の開催の是非及び開催方法等について 7. その他(年金事務所による簡易調査の会員周知、地域型年金委員の委嘱について) 報告事項 1. 中央労基署セミナーについて 2. 年金事務所情報交換会について 3. 政連報告 4. 仮払いの清算について
3. 11. 26 (第 7 回)	東京都社会保険労務士会会議室	協議事項 1. 支部の慶弔金支給基準について 2. 懇親旅行会開催について 3. ボウリング大会開催について 4. 前期 2 年間(令和元年度・令和 2 年度)の交通費、謝金の支払について 5. 役員事務連絡費の支払い、経費精算について 6. 新規入会者 SNS 制度について 7. 次回新規入会者オリエンテーションについて 8. その他

開催日	場 所	主 な 会 議 事 項
		報告事項 1. 懇親会の費用補助について 2. ハローワーク及び労基署セミナーについて 3. 臨時労働保険指導員表彰について 4. オンラインバスツアー賞品の進呈について 5. 千代田年金事務所情報交換会について 6. 東京会勤務等部会主催 2021 年度第1回研修会について 7. 本年度の研修予定について 8. 会報マニュアル作成費用等について 9. 千代田区モニタリングについて 10. 各担当副委員長よりコメント
3.12.23 (第8回)	トロワ・サージュ	協議事項 1. 1/26 賀詞交歓会におけるイベントと商品代支出について 2. 協力委員の任期途中辞任について 3. 協力委員希望者について 4. 新春賀詞交歓会の進行について 5. 新規入会者オリエンテーションについて 6. その他
4.1.18 (第9回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 商工会議所相談員募集について 2. 親睦旅行会の3月企画断念について 3. 厚生行事代替案の企画について 4. 令和4年度千代田区専門相談(毎月火曜日午後の相談窓口)担当者募集について 5. 3/23 ハイブリット研修の開催方法について 6. 新規入会者オリエンテーションの開催方法について 7. 3/23 の統括支部役員会議開催方法について 8. 4/19 の統括支部会議開催方法について 9. その他 報告事項 1. ボウリング大会延期に伴うキャンセル料支払いについて 2. 会報令和3年秋号のアンケートの結果報告 3. 支部 HP リニューアルについて 4. 1/22 障がい者よろず相談 MOFCA 講座について 5. 議案書作成準備について
4.2.7 (第10回)	ZOOM 会議	協議事項 1. 企画小委員会メンバーへの謝金について 2. 会報新年号に関する謝金について 3. YouTube 動画担当者への謝金について 4. 第2回オンラインツアーの企画提案について 5. HP リニューアル業者再選定について 6. 3/23 第11回研修会、ハイブリッド研修実施の可否について 7. 研修会アンケートフォーム(google フォームを利用)の作成担当者への謝金について 8. 監査日程について 9. その他(議案書の印刷について) 報告事項 1. 新規入会者 SNS 制度について 2. 仮払いの清算について

開催日	場 所	主 な 会 議 事 項
		3. 新規入会者オリエンテーション申込進捗について 4. 次回の正副支部長・委員長会議について
4. 3. 22 (第 11 回)	東京都社会保険労務士会会議室	協議事項 1. 臨時労働保険指導員取りまとめ役の謝金について 2. 臨時労働指導員研修の実施方法について 3. 4/19 交歓懇親会の式次第と賞品検討について 4. 労働環境モニタリング チェックリスト改定謝金について 5. HPリニューアル委託会社について 6. 統括支部役員会議(3/23)の運営について 7. 統括支部会議(4/19)の運営について 8. 統括支部会議の議長団について 9. 令和4年度事業計画案、予算案、その他議案書全体の検証 報告事項 1. 3/26 オンラインツアーの収支予定 労働環境モニタリングの報告について

3. 統括支部役員会議及びその他の会議の件

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 4. 20 2 年度 (第 3 回最終回)	如水会館 オリオンルーム 出席者 35 名	統括支部役員会議 協議事項 1. 令和 2 年度決算及び予算案について 2. その他
3. 10. 7 (第 1 回)	ZOOM 会議 出席者 33 名	統括支部役員会議 審議・報告事項 1. 統括支部事業報告(途中経過)及び統括支部運営について 2. 部会、委員会の実行済み事業報告及び部会、委員会運営について 3. その他(協議事項、報告事項、その他)
4. 3. 23 (第 2 回)	ZOOM 会議 出席者 38 名	統括支部役員会議 審議・報告事項 1. 支部会議の議案書の内容検討、意見収集 2. 部会からの事業報告 3. その他

4. 行政協力及びその他の事業について

開催日	場所・担当者数等	主 な 事 項
3. 4 ～4. 3	千代田区役所 担当者 11 名	千代田区役所 社会保険労務相談員 阿部康博 石井繁雄 岩瀬昌子 上野孝子 大関 一 大野剛一郎 小田香里 久保田詩織 高木裕子 中 弥希 宮本 治雄
3. 4 ～4. 3	千代田年金事務所 担当者 4 名	年金特別アドバイザー 武井 宏美 深井 暖 横山優子 山田理香
3. 4 ～4. 3	東京都社労士会 担当者 5 名	総合労働相談所相談員 伊東文子 金光由美子 小谷富士子 土屋雅子 橋場 環

開催日	場所・担当者数等	主 な 事 項
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者2名	社労士年金センター 大野剛一郎 小林伸行
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者6名	社労士110番相談員 岩瀬昌子 片野 誠 佐藤美穂子 星名真喜子 増山隆司 山崎博幸
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者4名	電子化推進員 小澤由紀子 小林憲一 瀧澤紀子 宮田和季
3.4 ～4.3	ハローワーク飯田橋 担当者4名	電子申請アドバイザー 岩瀬昌子 太田広江 金光由美子 中山真由美
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者5名	実務修習制度運営プロジェクトメンバー 浅井英憲 上野英樹 小田香里 河野真理 十佐近三生
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者8名	働き方改革支援事業巡回コンサルタント 上野孝子 大野剛一郎 片岡正美 佐藤美穂子 十佐近三生 戸國大介 毎熊典子 山村真也子
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者2名	東京都働きやすい職場環境づくり推進専門家派遣 澤上貴子 宮田和季
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者18名	東京都働きやすい職場環境づくり推進専門家派遣及び 東京都新型コロナウイルス感染症に係る休業等支援事業専門 家派遣 岩瀬昌子 市村公頼 上野孝子 小高 東 金田国久 川村姿子 小松 勝 佐藤美穂子 嶋 輝彦 鈴木政司 武井宏美 鳥居哲男 長谷川淳一 帆 莉 剛 松木慎也 増山隆司 山田理香 山村真也子
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者28名	中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業 専門家派遣家 青木哲郎 浅井英憲 新井章生 石井繁雄 大関 一 太田広江 大野剛一郎 荻沼國明 河原恵子 小林 清 嶋 輝彦 下斗米裕英 鈴木政司 角谷友子 園部成章 高木裕子 平野 茂 本間敬孝 増山隆司 松木慎也 松田裕理 宮野芳朗 宮本治雄 矢口泰士 山内由美子 山口修司 山田秀男 山村真也子
3.4 ～4.3	東京都社労士会 担当者1名	建設企業向けの社会保険等に関する相談員 浅井英憲
3.6 ～3.7	東京労働局 担当者18名	臨時労働保険指導員（申告書受理・相談コーナー担当） 上野 孝子 梅本 樹 江川明裕 小澤由紀子 小津理人 片野 誠 加藤充彦 金光由美子 木村晃子 後藤 武 小林憲一 児山昇正 嶋 輝彦 瀧澤紀子 千代綾香 中 弥希 中山真由美 長谷川淳一
3.6 ～3.7	中央労働基準監督署 担当者28名	臨時労働保険指導員（申告書受理・相談コーナー担当） 浅井英憲 今井浩爾 岩瀬昌子 大澤詠美子 小田香里 甲斐幸仁 柏本和江 川村姿子 久保英信 小松 勝 佐々木淳 佐藤美穂子 十佐近三生 高野宅己 武井 宏美 藤田綾子 藤本高志 帆 莉 剛 堀 拓磨 松井美希子 松木慎也 宮崎正雄 宮田和季 宮野芳朗 山内由美子 山口修司 山崎博幸 山崎博之
3.6	東京都立一橋高等学 校 担当者4名	年金授業講師 久保田詩織 佐藤美穂子 土屋雅子 中 弥希

開催日	場所・担当者数等	主 な 事 項
3. 6. 8 ～4. 3. 31	東京都社労士会 担当者 2 名	東京都女性の活躍推進加速化事業における派遣専門員 上野孝子 佐藤美穂子
3. 7	千代田年金事務所	算定基礎届相談コーナー担当者 コロナウイルスの影響により中止
3. 7. 7	東京都社労士会 担当者 1 名	派遣元責任者講習講師 久保田詩織
2. 7. 27 3. 1. 24	日本国際協力センタ ー 担当者 2 名	外国人就労・定着支援研修に係る講師 小田香里 澤上貴子
3. 8 ～4. 7	千代田区役所 担当者 1 名	千代田区公契約審議会委員 武内里佳
3. 8 ～4. 3	千代田区役所 担当者 1 名	保育所指導検査にかかる指導検査支援業務受託者 石原美由紀
3. 10 ～4. 3	東京都社労士会 担当者 7 名	企業主導型保育施設への労務監査事業における監査員 阿部康博 佐藤美穂子 澤上貴子 瀧澤紀子 長崎明子 中山真由美 帆苺 剛
3. 10. 14 ～3. 11. 25	独立行政法人自動車 事故対策機構 担当者 1 名	自動車事故対策機構 2021 年度運行管理者等基礎講習講師 佐藤美穂子
3. 10. 16 ～10. 30	東京都社労士会 担当者 4 名	特別研修グループリーダー 小田香里 金光由美子 十佐近三生 帆苺 剛
3. 11. 10	東京労働局 担当者 1 名	臨時労働保険指導員 労働局長感謝状 10 年 山崎博幸
3. 11. 15	中央労働基準監督署 担当者 5 名	臨時労働保険指導員 中央労働基準監督署長感謝状 3 年 上野孝子 加藤充彦 武井宏美 帆苺 剛 松井美希子
3. 1. 22	千代田区障がい者よ ろず相談モフカ 担当者 4 名	千代田区障がい者よろず相談モフカでのセミナー担当者 伊藤文子 久保田詩織 土屋雅子 藤木則夫

5. 例会・研修会について

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 5. 18 (第 1 回)	ZOOM 申込者 232 名 開業 102 名 法人社員 28 名 勤務等 102 名	例会 研修会 テーマ：「社労士が学ぶ、A 4 一枚評価制度！」 講 師：社会保険労務士法人 H A B I T A T 社会保険労務士 榎本あつし 氏
3. 6. 16 (第 2 回)	ZOOM 申込者 256 名 開業 96 名 法人社員 28 名 勤務等 132 名	例会 研修会 テーマ：「社労士が学ぶ、週 4 正社員制度導入ポイントと事例 紹介」 講 師：ドリームサポート社会保険労務士法人 代表社員 特定社会保険労務士 安中繁 氏

3. 7. 30 (第 3 回)	ZOOM 申込者 291 名 開業 116 名 法人社員 36 名 勤務等 139 名	例会 研修会 テーマ：「少しだけ前進・同一労働同一賃金 最高裁 5 判決について」 講 師：旬報法律事務所 弁護士 梅田和尊 氏
3. 8. 25 (第 4 回)	ZOOM 申込者 336 名 開業 136 名 法人社員 42 名 勤務等 158 名	研修会 テーマ：「同一労働同一賃金の企業実務 ～判決後の企業対応から学ぶ予防法務～」 講 師：倉重・近衛・森田法律事務所 弁護士 近衛大 氏
3. 8. 31 新入会員 オリエンテーション	ZOOM 新規入会者 31 名	第 1 回新規入会者オリエンテーション
3. 9. 15 (第 5 回)	ZOOM 申込者 247 名 開業 107 名 法人社員 25 名 勤務等 115 名	例会 研修会 テーマ：「人事評価制度の納得度アップのための勘所」 講 師：株式会社オフィスあん 松下直子 氏
3. 10. 7 (第 6 回)	ZOOM 申込者 239 名 開業 92 名 法人社員 28 名 勤務等 119 名	例会 研修会 テーマ：「人事評価の改革実務」 講 師：高原暢恭 氏 株式会社日本能率協会コンサルティング (JMAC)
3. 10. 29 開業部会 特別研修	ZOOM 申込者 231 名 開業 113 名 法人社員 25 名 勤務等 93 名	研修会 テーマ：「ハローワーク実務セミナー」 ～雇用保険法の改正及び有期雇用契約の終了に係る離職手続他について～ 講 師：管理部長 田口勝美 様 雇用継続課長 荒牧俊裕 様
3. 11. 2 (第 7 回)	ZOOM 申込者 265 名 開業 109 名 法人社員 29 名 勤務等 127 名	例会 研修会 テーマ：「70 歳就業機会確保時代を迎えた企業の「高年齢者雇用」への対応」 ～高年齢者雇用の社内制度の設計および運用の実務対応～ 講 師：株式会社田代コンサルティング 代表取締役 社会保険労務士 田代英治 氏
3. 12. 8 (第 8 回)	ZOOM 申込者 152 名 開業 62 名 法人社員 9 名 勤務等 81 名	例会 研修会 テーマ：「シニア人財活用の課題共有」 〔第一部〕 事例紹介 株式会社アシスト 浦田秀樹 氏 YKK AP株式会社 向井佳巳 氏 株式会社ミティックスインターナショナル 溝口りん子 氏 〔第二部〕 パネルディスカッション パネリスト : 浦田秀樹 氏 : 向井佳巳 氏 : 溝口りん子 氏 モデレーター: 長島裕子 氏 (勤務等部会長)

4.1.20 (第9回)	ZOOM 申込者 364名 開業 135名 法人社員 46名 勤務等 183名	例会 研修会 テーマ：「改正育児・介護休業法についての概要と実務対策」 講師：株式会社リーガル・ステーション／NAC社会保険 労務士事務所 特定社会保険労務士 岩崎仁弥 氏
4.2.16 (第10回)	ZOOM 申込者 297名 開業 125名 法人社員 39名 勤務等 133名	例会 研修会 テーマ：「業務委託契約書作成の留意点と2020年4月改正民法の実務」 講師：井澤・黒井・阿部法律事務所 東京オフィス 弁護士 黒井新 氏
4.2.21 新入会員 オリエンテーション	ZOOM 新規入会者 14名	第2回新規入会者オリエンテーション
4.3.23 (第11回)	ZOOM 申込者 233名 開業 99名 法人社員 22名 勤務等 112名	例会 研修会 テーマ：次の働き方はどうなるのか ～社労士に求められる先手の働き方改革～ 講師：株式会社ワークライフバランス 代表取締役 小室淑恵 氏

6. 統括支部会報について

第44号 (通巻第157号)	令和3年	春号発行
第45号 (通巻第158号)	令和3年	夏号発行
第46号 (通巻第159号)	令和3年	秋号発行
第47号 (通巻第160号)	令和4年	新年号発行

会員並びに上部団体・関係官庁・関係団体に配布

東京労働局	全国社会保険労務士会連合会
中央労働基準監督署	東京都社会保険労務士会
飯田橋公共職業安定所	同 8統括支部・20支部
東京都労働相談情報センター	東京都社会保険労務士政治連盟
千代田区役所	東京社会保険労務士協同組合
千代田年金事務所	東京SR経営労務センター
衆議院議員	飯田橋労働保険事務組合協議会
	東京商工会議所 千代田支部
	東京都行政書士会 千代田支部
	東京都司法書士会 千代田支部
	日本公認会計士協会東京会千代田会
	東京都税理士会 麹町支部
	東京都税理士会 神田支部
	社労士成年後見センター東京

7. メールアドレスの登録状況

(令和4年2月28日現在)

		開業	法人 社員	勤務等	合 計
合 計	登録者数	380	104	744	1228
	登録率	91%	47%	65%	69%

8. 厚生行事等について

開催日	場 所	主 な 事 項
3.10.2	ZOOM ミーティング	富良野・美瑛オンラインバスツアー 参加者 52名
3.10.6	泉カントリー倶楽部	東京都社労士会主催 第42回親睦ゴルフ大会 成績 団体戦 優勝 個人総合 準優勝 味園 公一 女性の部 優勝 十佐近三生
3.11.28 ～3.11.29		東京都社労士会主催 講演懇親旅行会 新型コロナウイルスの影響により中止
3.12		会員意見研修・検討会(千代田年金事務所 飯田橋公共職業 安定所 中央労働基準監督署 東京都労働相談情報センタ ー) 新型コロナウイルスの影響により中止
4.1.12	東京ドーム ボウリ ングセンター	千代田統括支部親睦ボウリング大会 新型コロナウイルスの影響により中止
1.1.22	ZOOM ウェビナー	東京都社労士会主催 特別新春イベント 申込者 351名(うち千代田支部会員 69名)
4.1.26	赤坂プリンス クラ シックハウス	新春賀詞交歓会 新型コロナウイルスの影響により中止
4.1.19	明治記念館	東京都社労士会主催 新春賀詞交歓会 新型コロナウイルスの影響により中止
4.2.24		東京都社労士会主催 統括支部・支部対抗ボウリング大会 新型コロナウイルスの影響により中止
4.3.26	ZOOM ミーティング	ペルー オンラインツアー 参加者 56名

9. 開業部会について

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3.5.17	ZOOM 会議 担当者 3名	部会長、副部会長ミーティング(ZOOM 会議) ・6/7 臨時労働保険指導員初心者向け研修について ・新規入会会員の資質向上の研修の企画等 ・秋口予定のハローワークセミナーの企画等 ・行政協力一覧表の在り方の再確認

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 5. 28	ZOOM 会議 出席者 11 名	開業部会オンライン会議 ・ 6/7 臨時労働保険指導員初心者向け研修について ・ 新規入会会員の資質向上の研修の企画等 ・ 秋口予定のハローワークセミナーの企画等 ・ 年間スケジュールの確認
3. 6. 7	中央労働基準協会 セミナールーム 出席者 12 名	臨時労働保険指導員初心者向け研修
3. 6. 28	ZOOM 会議 出席者 11 名	開業部会オンライン会議 ・ 新規入会会員の資質向上の研修の企画等 ・ 秋口予定のハローワークセミナーの企画等 ・ その他
3. 7. 28	ZOOM 会議 担当者 3 名	部会長、副部会長ミーティング (ZOOM 会議) ・ 新規入会者 SNS 相談室について ・ ハローワークセミナーの内容等
3. 7. 30	ハローワーク飯田橋 担当者 4 名	ハローワークセミナーの内容等の打ち合わせ
3. 8. 4	ZOOM 会議 出席者 8 名	開業部会オンライン会議 ・ 新規入会 SNS 相談室について ・ ハローワークセミナーの内容等
3. 9. 13	ZOOM 会議 出席者 11 名	開業部会オンライン会議 ・ 新規入会 SNS 相談室について ・ 10/29 開催ハローワークセミナーについて ・ 新規開業部会委員の追加について
3. 10. 9	ZOOM 会議 担当者 3 名	部会長、副部会長ミーティング (ZOOM 会議) ・ 中央署セミナーの開催について ・ 10/29 開催ハローワークセミナーについて ・ 新規入会者 SNS 制度について ・ 新規メンバーの追加について
3. 10. 18	中央労働基準監督署 担当者 3 名	中央労働基準監督署セミナー開催についての打ち合わせ
3. 10. 26	NAC 社会保険労務 士事務所 担当者 3 名	・ 10/29 開催ハローワークセミナーのリハーサル
3. 10. 29	NAC 社会保険労務 士事務所 担当者 4 名	・ 10/29 開催ハローワークセミナー当日
3. 11. 15	中央労働基準監督署 担当者 2 名	臨時労働保険指導員の感謝状贈呈式
3. 11. 26	ZOOM 会議 出席者 10 名	開業部会オンライン会議 ・ 開業部会委員の役割の再検討 ・ 新規入会者 SNS 制度の反省、意見等 ・ 12/3 開催中央労働基準監督署セミナーについて ・ 今後の開業部会のスケジュールについて
3. 12. 1	NAC 社会保険労務 士事務所 担当者 4 名	・ 12/3 開催ハローワークセミナーのリハーサル

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 12. 3	N A C 社会保険労務士事務所 担当者 4 名	・ 12/3 開催ハローワークセミナー当日
4. 1. 7	東京都社会保険労務士会 セミナールーム 出席者 11 名	・ 新規入会者 S N S 制度の反省、意見等 ・ 行政協力の紹介（人材バンクの設立）について ・ 開業部会委員の役割の再検討 ・ 他士業との連携について
4. 2. 17	ZOOM 会議 出席者 10 名	開業部会オンライン会議 ・ 今後の新規入会者 S N S 制度の在り方の再検討 ・ 行政協力の紹介（人材バンクの設立）について ・ 他士業との連携について ・ 臨時労働保険指導員について
4. 3. 17	社会保険労務士朝比奈事務所会議室 担当者 2 名	臨時労働保険指導員の推薦者名簿の取りまとめ、申込書一式の内容確認
4. 3. 29	社会保険労務士朝比奈事務所会議室 担当者 4 名	臨時労働保険指導員の推薦者名簿の取りまとめ、申込書一式の内容確認

1 0．勤務等部会について

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 6. 2	ZOOM 会議 出席者 12 名	第 1 回 企画小委員会 ・ 新委員長挨拶、新任委員の紹介 ・ 9 月情報交流会について ・ 12 月勤務等部会主催研修について
3. 7. 8	ZOOM 会議 出席者 10 名	第 2 回 企画小委員会 ・ 9 月情報交流会について
3. 8. 25	ZOOM 会議 出席者 9 名	第 3 回 企画小委員会 ・ 9 月情報交流会について ・ リハーサル準備
3. 9. 9	ZOOM 会議 出席者 10 名	第 4 回 企画小委員会 ・ 9 月情報交流会について ・ リハーサル
3. 9. 15	ZOOM 会議 出席者 10 名	情報交流会
3. 9. 22	ZOOM 会議 出席者 11 名	第 5 回 企画小委員会 ・ 9 月情報交流会反省会 ・ 12 月研修会について
3. 10. 11	東京コトブキ御茶ノ水店 出席者 2 名	第 6 回 企画小委員会 ・ 情報交流会アンケート検証 ・ 勤務等部会主催研修打ち合わせ
3. 10. 25	ZOOM 会議 出席者 7 名	第 7 回 企画小委員会 ・ 12 月研修登壇者 3 名と打ち合わせ
3. 11. 29	ZOOM 会議 出席者 11 名	第 8 回 企画小委員会 ・ 12 月研修リハーサル
3. 12. 8	ZOOM 会議 出席者 14 名	勤務等部会主催研修

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 12. 10	楽蔵 出席者 11 名	第 9 回 企画小委員会 ・ 12 月 8 日研修アンケート検証 ・ 次年度への課題 ・ その他

1 1. 委員会活動について

(1) 総務委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 4. 20	如水会館 出席者 4 名	・ 統括支部会議・定期統括支部大会(政連)受付
3. 4. 22	東京会 ABC 研修室 出席者 19 名	・ 議案書発送作業
3. 7. 20	東京会 E 研修室 出席者 5 名	・ 会報発送作業
3. 8. 27	ZOOM 会議 担当者 4 名	・ 新規入会者オリエンテーション事前打合せ
3. 8. 31	ZOOM 会議 担当者 2 名	・ 第 1 回新規入会者オリエンテーションの運営
3. 10. 26	ZOOM 会議 担当者 16 名	・ 11 月の発送作業について ・ 賀詞交歓会、令和 4 年 3 月のハイブリッド研修について
3. 11. 4	東京会 DE 研修室 出席者 7 名	・ 会報発送作業
3. 12. 3	東京会 DE 研修室 出席者 11 名	・ 賀詞交歓会案内発送作業
3. 12. 6	赤坂プリンスクラ シニックハウス 出席者 4 名	・ 賀詞交歓会下見、打合せ
4. 1. 12	ZOOM 会議 担当者 4 名	・ 今後の予定、議案書作成の打ち合わせ
4. 1. 31	東京都社労士会 出席者 13 名	・ 会報発送作業
4. 2. 21	ZOOM 会議 担当者 2 名	・ 第 2 回新規入会者オリエンテーションの運営

(2) 研修委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 4. 12	ZOOM 会議 担当者 5 名	4/15 講師事前打ち合わせ ・ 研修の内容 ・ 講師への確認事項 ・ その他
3. 4. 15	ZOOM 会議 担当者 5 名	4/15 ドリームサポート社会保険労務士法人安中繁先生打ち 合わせ ・ 研修依頼の内容について ・ その他確認事項

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 5. 6	ZOOM 会議 担当者 16 名	第 1 回研修委員会 ・今年度の研修テーマを検討 ・具体的な研修内容及び講師 ・役割分担(ZOOM 講義を前提)
3. 5. 14	ZOOM 会議 担当者 2 名	研修委員長引継ぎ ・ZOOM ウェビナー準備及び運用
3. 5. 18	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 2 名	令和 3 年度第 1 回研修会運営 ・ZOOM ウェビナー運営
3. 5. 18	社会保険労務士片野 誠事務所 担当者 2 名	研修委員長引継ぎ ・ZOOM ウェビナー準備及び運用 ・研修案内準備について(メルマガ配信、イベント作成他)
3. 5. 20	森武内社会保険労務 士法人他 ZOOM 担当者 5 名	令和 3 年度研修委員会正副委員長会議 ・今年度の研修テーマについて ・具体的な研修内容及び講師 ・その他
3. 5. 27	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度第 3 回研修会講師打ち合わせ(梅田和尊先生) ・研修の内容について ・当日の流れ他
3. 6. 15	ZOOM 会議 担当者 3 名	ZOOM ウェビナーリハーサル ・ZOOM ウェビナーの操作テスト ・その他
3. 6. 16	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 2 名	令和 3 年度第 2 回研修会運営 ・ZOOM ウェビナー運営
3. 6. 17	ZOOM 会議 担当者 16 名	第 2 回研修委員会 ・8 月の研修講師の選定、9 月及び 10 月の研修講師の選定 ・委員会交通費の件 ・各委員からの意見
3. 7. 6	ZOOM 会議 担当者 5 名	令和 3 年度研修委員会正副委員長会議 ・9 月、10 月の人事評価の研修会、講師選定 ・11 月の講師選定 ・その他
3. 7. 7	ZOOM 会議 担当者 5 名	令和 3 年度第 4 回研修会講師打ち合わせ(近衛大先生) ・研修内容について ・当日の流れその他
3. 7. 12	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度第 5 回研修会講師打ち合わせ(松下直子先生) ・研修内容について ・当日の流れその他
3. 7. 27	ZOOM 会議 担当者 3 名	令和 3 年度第 6 回研修会講師打ち合わせ(高原先生) ・研修内容について ・当日の流れその他
3. 7. 30	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度第 3 回研修会運営 ・ZOOM ウェビナー運営
3. 8. 23	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度第 7 回研修会講師打ち合わせ(田代先生) ・研修内容について ・当日の流れその他

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 8. 25	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 5 名	令和 3 年度第 4 回研修会運営 ・ ZOOM ウェビナー運営
3. 9. 2	ZOOM 会議 担当者 14 名	第 3 回研修委員会 ・ 令和 4 年 1 月及び 2 月のテーマ及び研修講師の選定 ・ アンケート結果の件
3. 9. 15	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度第 5 回研修会運営 ・ ZOOM ミーティング運営
3. 10. 7	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度 第 6 回 研修会 運営 ・ ZOOM ウェビナー運営
3. 10. 26	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度 第 9 回研修会講師打合せ（社労士 岩崎先生） ・ 研修内容について ・ 当日の流れその他
3. 11. 2	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度 第 7 回 研修会 運営 ・ ZOOM ウェビナー運営
3. 11. 8	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度研修委員会正副委員長会議 ・ 2 月の民法に関する研修会、講師選定 ・ その他
3. 12. 3	ZOOM 会議 担当者 4 名	令和 3 年度 第 10 回研修会講師打合せ（弁護士 黒井先生） ・ 研修内容について ・ 当日の流れその他
4. 1. 20	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度第 9 回研修会運営 ・ ZOOM ミーティング運営
4. 2. 3	ZOOM 会議 担当者 5 名	令和 3 年度 第 11 回研修会講師打合せ（株式会社ワーク・ ライフバランス 代表取締役社長 小室淑恵様） ・ 研修内容について ・ 当日の流れその他
4. 2. 14	ZOOM 会議 担当者 2 名	令和 3 年度研修委員会正副委員長会議 ・ 第 4 回研修委員会事前打合せ ・ その他
4. 2. 16	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度第 10 回研修会運営 ・ ZOOM ウェビナー運営
4. 2. 17	ZOOM 会議 担当者 12 名	第 4 回研修委員会 ・ 令和 4 年度研修会に関するテーマ、計画、内容の検討 ・ アンケート結果の件 ・ 令和 4 年度 5 月、6 月研修テーマ及び講師の選定 ・ その他
4. 3. 10	ZOOM 会議 担当者 3 名	令和 3 年度研修委員会正副委員長会議 ・ 次年度研修会 5 月及び 6 月について ・ その他
4. 3. 23	Web 例会研修会 ZOOM 担当者 4 名	令和 3 年度第 11 回研修会運営 ・ ZOOM ウェビナー運営

(3) 広報委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 3. 30	さくら社会保険労務士事務所 出席者 3名	・令和3年会報夏号について ・今後の体制について
3. 4. 9	杜若経営法律事務所 出席者 1名	・会報夏号「特別寄稿」執筆交涉及び打ち合わせ(向井蘭弁護士)
3. 5. 10	ZOOM 会議 出席者 3名	・役割分担と今後の体制について ・第1回広報委員会(5/12)の事前打ち合わせ ・会報夏号について
3. 5. 12	ZOOM 会議 出席者 19名	・第1回広報委員会全体会議 ・今後の活動の主な骨組み ・春号の振り返り ・今後の会報担当概要説明 ・自由意見交換
3. 5. 21	さくら社会保険労務士事務所 出席者 3名	・会報夏号について
3. 6. 24	ZOOM 会議 出席者 12名	・第2回広報委員会全体会議 ・役割分担発表 ・今後の活動見込みについて(コロナ関連) ・会報秋号について ・自由意見交換
3. 7. 6	ZOOM 会議 出席者 1名	・会報秋号「特別寄稿」執筆交涉及び打ち合わせ(軽部龍太郎弁護士)
3. 7. 14	ZOOM 会議 出席者 7名	・会報秋号打ち合わせ(役割分担と進め方の確認) ・年金授業座談会について
3. 7. 15	森武内社会保険労務士法人 出席者 11名	・令和3年会報秋号企画 一橋高校年金授業講師座談会
3. 7. 17	ZOOM 会議 出席者 2名	・会報秋号の役割分担と進め方 ・年金授業座談会について
3. 7. 24	ZOOM 会議 出席者 6名	・会報秋号打ち合わせ (年金授業座談会の具体的な記事役割分担について)
3. 8. 10	ZOOM 会議 出席者 8名	・YouTube 動画打ち合わせ(方向性について)
3. 8. 17	ZOOM 会議 出席者 8名	・会報新年号打ち合わせ
3. 8. 24	さくら社会保険労務士事務所 出席者 2名	・会報秋号について
3. 9. 8	森武内社会保険労務士法人 出席者 6名	・YouTube 動画について ・会報アンケートについて
3. 10. 26	ZOOM 会議 出席者 9名	・YouTube 動画打ち合わせ

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 11. 10	社会保険労務士法人 さくら事務所 出席者 2名	・前回 YouTube 班会議の反省 ・今後の YouTube 班活動方針の打合せ
3. 11. 17	珈琲館 飯田橋店 出席者 2名	・前期末払謝金に関する確認 ・今後の活動方針の打合せ
3. 12. 15	森武内社会保険労務 士法人 出席者 6名	・YouTube 動画撮影（森支部長対談）
4. 1. 7	ほかり社会保険労務 士事務所 主席者 4名	・YouTube 動画編集会議
4. 2. 9	ZOOM 会議 出席者 17名	・第3回広報委員会全体会議 ・今期の振り返り（会報、YouTube） ・会報秋号アンケートについて（結果開示・アンケート謝金） ・会報愛称について ・会報春号編集会議（会報春号の内容、役割分担）

(4) 厚生委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 4. 15	ZOOM 会議、森武内社 会保険労務士法人 出席者 16名	・厚生行事役割分担の決定 ・親睦旅行・オンラインツアー等の企画打ち合わせ ・その他連絡事項 ・自己紹介等
3. 5. 14	ZOOM 会議 出席者 5名	・オンラインツアー企画のプレゼン聴講 (近畿日本ツーリストコーポレートビジネス神村氏)
3. 5. 26	ZOOM 会議、 出席者 12名	・オンラインツアー企画の検討
3. 7. 21	ZOOM 会議 出席者 13名	・オンラインツアー企画提案内容について
3. 8. 4	東京 EL 労務岡崎社 会保険労務士事務所 出席者 2名	・オンラインツアー企画提案内容について (JTB とのリアル商談実施)
3. 9. 22 (第6回)	ZOOM 会議 出席者 7名	・オンラインツアー企画について (JTB・札幌観光バスとの商談)
3. 10. 2	ZOOM 会議 出席者 4名	・オンラインツアー当日の司会進行、放送局業務 ・回線不備対応のための待機
3. 11. 22	ZOOM 会議 出席者 7名	・ボウリング大会開催打ち合わせ(ボウリング部会)
3. 11. 30	ZOOM 会議 出席者 6名	・第2回ボウリング大会開催打ち合わせ(ボウリング部会) ※当日役割分担、賞品の検討等
3. 12. 9	東京 EL 社労務 出席者 2名	・親睦旅行会打ち合わせ(近畿日本ツーリスト神村氏来所)
3. 12. 22	ZOOM 会議、森武内社 会保険労務士法人 出席者 13名	・新年賀詞交歓会の進行について ・親睦旅行会の企画について ・ボウリング大会の進行について
4. 2. 1	ZOOM 会議 出席者 13名	・第2回オンラインツアーの企画検討

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
4. 3. 18	ZOOM 会議 出席者 6 名	・ 第 2 回オンラインツアーの当日進行検討 (対:旅行代理店担当者)
4. 3. 21	楽蔵 秋葉原店 出席者 3 名	・ 第 2 回オンラインツアーの当日司会進行打ち合わせ
4. 3. 26	ZOOM 出席者 3 名	・ 第 2 回オンラインツアー（ペルー）開催 ・ オンラインツアー当日の司会進行業務 ・ 回線不備対応のための待機

(5) I T 委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 3. 30	ZOOM 会議 出席者 5 名	支部 HP の管理について ①アドレス登録者の現状と整理について ②HP のサーバー問題について
3. 4. 26	ZOOM 会議 出席者 12 名	支部 HP のサーバー問題、アドレス登録者のチェックについて等 ①メンバー紹介 ②HP のサーバー問題・アドレス登録者のチェックについて ③今年度の IT 委員会活動予定について
3. 5. 10	ZOOM 会議 出席者 5 名	㈱マテリオ小川原氏とサーバー問題に関する打ち合わせ ① メルマガが配信されない件に関する対応の検討
3. 5. 26	ZOOM 会議 出席者 4 名	㈱東京エコール森氏と HP リニューアルに関する打ち合わせ ①HP リニューアルについて ②メルマガ配信システムについて
3. 5. 27	ZOOM 会議 出席者 9 名	支部 HP のサーバー問題、分科会について等 ①山崎博幸先生より電子化推進員の紹介 ②HP のサーバー問題・アドレス登録者のチェックについて ③分科会について
3. 7. 27	ZOOM 会議 出席者 11 名	メルマガ配信システム、今年度の分科会の活動予定について等 ①新しいメルマガ配信システムについて ②今年度の分科会の活動予定について ③下期の委員会開催日について
3. 8. 5	ZOOM 会議 出席者 7 名	㈱東京エコール森氏と HP リニューアルキックオフミーティング ①支部 HP の現状について ②新しい HP の内容について ③今後のスケジュールについて
3. 8. 24	ZOOM 会議 出席者 8 名	新しい HP のコンセプトについて ①現行の HP の移行について ②新しい HP のコンセプトについて
3. 9. 2	ZOOM 会議 出席者 11 名	HP リニューアル、ミニ講習会について等 ①HP リニューアルについて ②千代田年金事務所のミニ講習会について ③下期の委員会の開催日について

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 9. 14	ZOOM 会議 出席者 6 名	新しい HP の構成について ①新しい HP に入りたいコンテンツについて ②HP 全体の構成について
3. 9. 29	ZOOM 会議 出席者 9 名	千代田年金事務所のミニ講習会について ①講習会の開催日時について ②講習会の構成について ③当日の役割分担について
3. 10. 28	ZOOM 会議 出席者 15 名	HP リニューアル、ミニ講習会について等 ①HP リニューアルについて ②千代田年金事務所のミニ講習会について
3. 11. 17	森 武内社会保険労 務士法人 会議室 (ZOOM 併用) 担当者 9 名	千代田年金事務所情報交換会開催 ①千代田年金事務所より法改正等の説明 ②質疑応答
3. 11. 25	森 武内社会保険労 務士法人 会議室 (ZOOM 併用) 出席者 14 名	HP リニューアルについて等 ①HP リニューアルについて ②千代田年金事務所情報交換会実施報告
3. 12. 9	社会保険労務士法人 EE パートナース会 議室 (ZOOM 併用) 出席者 10 名	HP リニューアルについて ①今後の役割分担について ②業者との打ち合わせの進め方について
3. 12. 17	ZOOM 会議 出席者 4 名	㈱東京エコール森氏と HP リニューアルに関する打ち合わせ ①会員ページのログイン ID・パスワードについて ②メルマガ配信システムのメールアドレス管理について ③今後のスケジュール他
4. 1. 13	森 武内社会保険労 務士法人 会議室 出席者 6 名	HP リニューアル発注先再検討
4. 1. 20	ZOOM 会議 出席者 6 名	発注先候補会社との打ち合わせ
4. 1. 27	ZOOM 会議 出席者 14 名	HP リニューアルについて ①発注先再選定について ②他支部 HP との比較検討
4. 2. 7	ZOOM 会議 出席者 6 名	発注先候補会社①によるプレゼンテーション
4. 2. 8	ZOOM 会議 出席者 6 名	発注先候補会社②によるプレゼンテーション
4. 2. 18	ZOOM 会議 出席者 11 名	HP リニューアル発注先の検討・決定
4. 2. 24	ZOOM 会議 出席者 9 名	㈱Koami と HP リニューアルキックオフミーティング

(6) 社会貢献委員会

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
3. 4. 27	千代田区役所 出席者 2	・ご挨拶、今年度の区民相談(専門家相談)について ・チラシ配布
3. 5. 12	千代田年金事務所 出席者 3 名	副所長と年金授業(一橋高校)についての打ち合わせ
3. 5. 13	ZOOM 会議 出席者 14 名	今年度の事業について ・一橋高校年金授業・労働環境モニタリング・障害者よろず相談 MOFCA ・ふれあい福祉まつり、その他学校教育企画・成年後見活動について
3. 5. 27	一橋高校 出席者 4 名	年金授業打ち合わせ(現地)
3. 6. 7	森武内社会保険労務士法人 出席者 5 名	年金授業打ち合わせ、リハーサル
3. 6. 10	MOFCA 出席者 3 名	今年度セミナー企画について打ち合わせ
3. 6. 12	一橋高校 出席者 3 名	年金授業の実施(千代田年金事務所)
3. 6. 19	一橋高校 出席者 4 名	年金授業の実施(千代田年金事務所)
3. 6. 26	一橋高校 出席者 3 名	年金授業の実施(千代田年金事務所)
3. 8. 26	ZOOM 会議 出席者 11 名	労働環境モニタリング用 チェックリスト改定会議①
3. 9. 29	ZOOM 会議 出席者 10 名	労働環境モニタリング用 チェックリスト改定会議②
3. 10. 8	障がい者よろず相談 MOFCA (竹橋) 出席者 4 名	1 月セミナー打ち合わせ
3. 10. 12	ZOOM 会議 出席者 3 名	進捗報告・確認 ・労働環境モニタリング・障害者よろず相談 MOFCA セミナー ・ふれあい福祉まつりのアンケート提出
3. 10. 27	東京都社会保険労務士会会議室 出席者 10 名	労働環境モニタリング用 チェックリスト改定会議③
3. 11. 26	東京都社会保険労務士会会議室 出席者 10 名	労働環境モニタリング用 チェックリスト改定会議④
3. 12. 1	千代田区役所 出席者 3 名	労働環境モニタリング 万世会館打合せ
3. 12. 8	千代田区役所 出席者 3 名	労働環境モニタリング いきいきプラザ打合せ
3. 12. 22	かがやきプラザ 出席者 3 名	労働環境モニタリング かがやきプラザ打合せ
3. 12. 27	東京都社会保険労務士会会議室 出席者 13 名	今年度の進捗報告・確認・新規委員紹介

開催日	場所・出席者数	主 な 事 項
4. 1. 6	森武内社会保険労務士法人会議室 出席者 5名	障がい者よろず相談 MOFCA セミナーリハーサル
4. 1. 22	障がい者よろず相談 MOFCA（竹橋） 出席者 5名	障がい者よろず相談 MOFCA セミナー開催 （リアル＋zoom）
4. 2. 25	千代田区役所 出席者 3名	労働環境モニタリング いきいきプラザ中間報告
4. 3. 3	かがやきプラザ 出席者 3名	労働環境モニタリング かがやきプラザ中間報告
4. 3. 8	千代田区役所 出席者 3名	労働環境モニタリング 万世会館中間報告

1 2. 会員の異動状況について

（令 4 年 2 月 28 日現在）

	2. 3. 28 現在	異動（増減）	3. 2. 28 現在
開業	4 2 4	－ 5	4 1 9
法人社員	2 0 9	1 0	2 1 9
勤務等	1 1 0 9	3 3	1 1 4 2
計	1 7 4 2	3 8	1 7 8 0

(第2号議案)令和3年度収入支出決算承認に関する件

令和3年度 収入支出決算

単位：円

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
前期より繰越	17,105,049	17,105,049	0	研 修 費	3,000,000	2,076,660	△ 923,340
運営費交付金	13,300,000	13,580,400	280,400	会 議 費	900,000	655,283	△ 244,717
必須研修交付金	0	0	0	通 信 費	800,000	465,389	△ 334,611
業務別実務 研修交付金	200,000	200,000	0	事 業 費	4,800,000	2,347,873	△ 2,452,127
街頭相談 交付金	100,000	0	△ 100,000	事 務 費	1,800,000	1,739,200	△ 60,800
区民相談等 交付金	90,000	48,000	△ 42,000	渉 外 費	200,000	15,000	△ 185,000
算定相談交付金	30,000	0	△ 30,000	広 報 費	6,000,000	4,158,649	△ 1,841,351
モニタリング報酬	561,000	81,000	△ 480,000	交 通 費	3,000,000	2,961,240	△ 38,760
行政名札掲載料	0	0	0	厚 生 費	3,000,000	1,600,990	△ 1,399,010
特別研修会受講料	0	0	0	印刷費	1,900,000	809,600	△ 1,090,400
会報掲載料(政連)	60,000	60,000	0	支払手数料	150,000	129,922	△ 20,078
雑収入(受取利息)	1,000	160	△ 840	慶弔費	200,000	40,000	△ 160,000
その他	300,000	30,000	△ 270,000	選挙経費	0	0	0
千代田区相談業務	2,000,000	1,992,375	△ 7,625				
				予 備 費	300,000	0	△ 300,000
				小 計	26,050,000	16,999,806	△ 9,050,194
				次 期 繰 越	7,697,049	16,097,178	8,400,129
合 計	33,747,049	33,096,984	△ 650,065	合 計	33,747,049	33,096,984	△ 650,065

- (注) 1. 研修費：研修会、管外研修会、新規入会者オリエンテーション等にかかる費用
2. 会議費：役員会（定期統括支部会議含む）・委員会・部会等様々な会議の会場費、飲料、他雑費にかかる費用
3. 通信費：送料（会報以外）、切手代、電話代、FAX代にかかる費用
4. 事業費：賀詞交歓会、街頭相談、行政協力、謝金、各種支部事業（厚生にふくまれないもの）にかかる費用
5. 事務費：封筒、印紙、事務用品、消耗品、他雑費にかかる費用
6. 渉外費：関係団体（他団体）への会費・祝い金・慶弔金・各種分担金にかかる費用
7. 広報費：会報発行、ホームページ関連にかかる費用（会報にかかる印刷代、郵送代等は「広報費」で計上）
8. 交通費：全ての交通費
9. 厚生費：厚生事業・親睦会・懇親会にかかる費用
10. 印刷費：資料印刷（会報以外）、コピー代等にかかる費用
11. 支払手数料：振込手数料にかかる費用
12. 慶弔費：会員及び会員家族への慶弔金・生花代・香典にかかる費用
13. 選挙費：支部役員選挙にかかる費用

監 査 報 告

令和３年度の東京都社会保険労務士会千代田統括支部及び千代田支部の業務・会計監査を実施いたしました。その結果について、ご報告いたします。

1. 業務執行については、事業計画に基づき、全般を通じ適正に執行されていると認められた。
2. 会計（収支決算）については、帳簿、証拠書類等いずれも正確に処理されており、決算内容が適切であると認められた。

令和４年４月８日

監 査

石原美由紀



監 査

酒井裕樹



令和4年度 事業計画

これからは「アフターコロナ」を視野に入れて進んで行かなければなりません。閉塞された社会は少しずつ開放されようとしています。ただし、だからといって元の環境にもどる訳ではなく、「働き方改革」がかなり進んだ社会になって行くと思われます。コロナ禍で学んだ効率の良い働き方、そして人の心のサポートの大切さ。これからの労務管理は、この二つを両極として展開していきます。つまり労働の適正管理と公正な評価、そしてハラスメント対策が重要ではないかと考えています。社労士としては関与する企業の「労働」と「人」に関する業務に注力して、良質な労務環境を構築するように心掛ける必要があります。

令和4年度の初めにあたり、私が支部長としてとにかく行いたいと願うのは「リアルに皆様とお会いして支部活動を展開したい。」という事です。就任当初から掲げている支部活動の3つの目標である「専門性の向上」「電子化の推進」「新人社労士の育成」のうち、専門性につきましては、研修会やメルマガ、そして会報によりみなさまへ有効な情報をお届けしてきたと自負しております。また、電子化につきましては、コロナ禍により普及のスピードが速くなったと考えております。ただし新人社労士の育成につきましては、ZOOM 会議しか行えない状況ではその効果が弱く、新人の発掘、育成にはまだまだ力及ばずの感があります。

生活が開放されてきたと言っても、今未だコロナの感染防止ための制限はありますし、感染の可能性について予断を許さないところがありますが、ZOOM とリアルをバランスよく使い分けながらコミュニケーションを第一にした支部活動を展開していこうと考えております。

開業部会では、実務能力の向上を目的とした研修会の開催と情報発信のほかに、新人社労士への研修・支援を行います。勤務等部会は、勤務等部会員間の情報交流の充実と、勤務等会員たちの支部活動への参加を促します。研修委員会では、ひとつのテーマにそった研修を年間を通して開催します。また ZOOM とリアルの研修を交互に行うことにより、研修会を原則毎月行います。広報委員会では、これからの社労士に役に立つような情報を載せた会報を発行いたします。また、会報の動画化等を検討していきます。社会貢献委員会は、停滞してしまった学校教育を拡大するとともに、千代田区との連携を更に密にし、行政協力を充実します。IT委員会は、支部ホームページを刷新し、支部の活動予定の発表だけではなく、支部と会員を繋げる情報を掲載するようにします。また、社労士業務のIT化に係る情報をミニセミナーとして発信していきます。厚生委員会では、そろそろリアルな厚生事業を行う企画を立て、大型の厚生事業を複数回開催したいと考えております。総務委員会でも、新規入会者オリエンテーションをリアルで開催することにより、新人の発掘に力を入れて行きます。

これから1年間、執行部一同、全力で駆け抜けていきますので、皆様、引き続きご支援、ご協力の程、お願い申し上げます。

今年度の基本方針と具体的な活動事業の計画は、以下の通りです。

1. 基本方針

- (1) 千代田統括支部の発展のために、委員・協力委員が同じ目的意識を持ち前進する。
- (2) 民法・労働法に関する研修会を数多く開催し、会員に対しては、開業・法人会員と勤務等会員の間に隔たりがないように正確な情報を提供し、社労士としての地位向上及び職域拡大を目指す。
- (3) 会員による自発的・自主的な統括支部組織の運営を引き続き行うとともに、委員・協力委員相互のコミュニケーションを高め、組織の強化を目指す。
- (4) 実務能力の向上・充実を図るための研修会等を企画・運営し、会員の社労士レベルを上げる
- (5) 新規入会会員の資質を向上させるような研修会を行い、次代を担う若手の育成に力を注ぐ。
- (6) 行政協力を受ける社労士のために、行政協力の種類やそれに必要な知識・実務レベル

の教育を行う。

- (7) 社会貢献と社労士制度広報活動を推進するために、社会貢献委員会及び広報委員会の活動を活発にする。
- (8) 統括支部会報・統括支部ホームページ・メルマガの一層の活用を通じて、身近な情報、役立つ情報の提供を行うとともに会員の相互の意見交換の場とする。
- (9) 統括支部ホームページ及びメルマガを活用して、迅速かつ低廉な連絡を目指す。また、研修会で使用する資料を会員が各々ダウンロード可能とする研修会をさらに増やすことを検討する。
- (10) 勤務等会員と開業会員（法人社員を含む）との交流をさらに深め、会員の中から講師や原稿執筆にたけた者等、隠れた人材を発掘し、各々の得意分野で活躍できる機会の構築に努める。
- (11) 関係行政機関等へは、協力することに加え、行政担当副支部長を中心に日常的に連絡を密にし、交流を深め、相互協力の下で社労士の存在をアピールしていく。
- (12) 関係団体や他士業団体との情報交換や交流を進め、また、東京都社会保険労務士政治連盟千代田統括支部とタイアップした活動の企画を目指す。
- (13) 労働・社会保険無料街頭相談、区民相談、千代田区福祉まつりや学校教育への講師派遣などを通じて、広く国民に対して社労士を周知し、気軽に活用してもらうための広報活動を行う。
- (14) 例会・研修会・福利厚生事業や同好会活動を支援し、会員相互の親睦、コミュニケーションのとれた健康的な会員交流を目指す。そこから次世代を担う人材を発掘し育成する。
- (15) 東京会と連携して、社労士制度の普及拡大に努める。

2. 具体的な統括支部事業

(1) 組織の強化対策事業

- ① 年一回委員・協力委員を一堂に集め、今後の活動方針を確認し合う。
- ② 統括支部例会を年 10 回程度開催する。統括支部会議と定例支部会議を 4 月に開催する。
- ③ 正副支部長・委員長会議を年 10 回程度開催し、統括支部の運営について協議する。
- ④ 統括支部役員会議を年 4 回程度開催する。
- ⑤ 統括支部行事への勤務等会員の参加率を高めるため、勤務等部会主催の研修会・情報交流(交換)会を開催し、会員相互の意識の向上を図る。
- ⑥ 各部会・委員会の協力委員に新規入会者を積極的に募集し、統括支部活動の一翼を担ってもらふ。特に女性会員を登用し育成を図り、今後の統括支部活動の担い手になってもらう。
- ⑦ 会員に対する情報伝達手段は統括支部ホームページ及びメルマガを原則とする。ホームページの利便性をさらに高めるため全会員のメールアドレス登録を目指す。
- ⑧ 新規入会者オリエンテーションを年 2 回開催し、新しい会員の統括支部事業への積極的な参加を促す。
- ⑨ 他の統括支部や支部との交流（各々が主催する研修会への参加交流を含む）による情報交換や好事例の研究を目指す。
- ⑩ 勤務等部会と各委員会との連携を図り、勤務等会員へのサービス向上を目指す。

(2) 資質の向上対策事業

- ① 会員の資質や知識を向上させるための研修会を企画し、原則毎月開催する。
- ② 会員相互の知識と知恵の共有を図るため、事例研究等を通して、真に実務に役立つ研修会を企画、実施する。
- ③ 新規入会者の職業意識や職業倫理を向上させるための、新規入会者オリエンテーションを充実させる。
- ④ 統括支部活動に対する参加意識を高めるため、各種行政協力の説明会を行う。
- ⑤ 専門実務ノウハウ研修、個別労働関係紛争の防止又は対応にかかる法律知識の研修及びトラブル対応事例等の研修会を実施し実務知識と能力の向上を図る。
- ⑥ 電子申請できる労働・社会保険の手続がさらに増加している。IT委員会及び支部電子

化推進員が中心となり、会員に対して、パソコン利用の習熟と電子申請業務ができる環境整備をサポートする。

(3) 広報活動事業

- ①統括支部会報を年4回（4月、7月、10月、1月を基本とする。）発行する。
- ②研修会、統括支部ホームページ、電子メール等を通じて、会員に対し、必要な情報の提供を迅速かつ低廉に行う。
- ③労働・社会保険無料街頭相談等を実施し、社労士を広く国民にPRするための活動を行う。
- ④行政等（労働基準監督署・ハローワーク・年金事務所）、地域（千代田区）、関係他団体（東商千代田支部等）、公立・私立学校、金融機関と連携し、事業（相談会・お祭り・学校教育等）推進を拡充・模索し、社労士の認知度の向上を図る。
- ⑤統括支部の活動等を動画配信する。
- ⑥支部ホームページを新しくする。

(4) 社会貢献に関する事業

- ①千代田区から受託する指定管理業者等にかかる「労働環境モニタリング調査業務」につき引き続き積極的な協力を行い、内容の充実と均一化を図るため、「調査マニュアル」の作成と担当者の養成を行い、より適正な調査により千代田区及び区民に貢献する。
- ②一昨年前に実施した年金に関する授業での講師派遣に引き続き、千代田区内の学校に対して、労働・社会保障教育の講師派遣ができるよう関係各所に働きかける。テキストに関しては東京会作成のものを活用する。
- ③社労士による成年後見事業を推進するために、東京会、他支部及び一般社団法人社労士成年後見センター東京と連携して、自治体等への働きかけを強化する。
- ④労働・社会保険無料街頭相談会の他、行政等（労働基準監督署・ハローワーク・年金事務所）、地域（千代田区）、関係他団体（東商千代田支部等）、金融機関が実施する事業において、無料相談会の開催や講師派遣を行うことにより社会に貢献する。
- ⑤千代田区障がい者よろず相談モフカでの講座への講師派遣も継続していく。

(5) 関係行政機関等への協力事業

- | | |
|---|---------------|
| ①千代田区役所 社会保険・労務相談員の派遣 | 4月～翌年3月(第2火曜) |
| ②千代田区役所 年金課 相談員の派遣 | 4月～翌年3月 |
| ③千代田区役所 労働環境モニタリング調査業務 | 4月～翌年3月 |
| ④千代田区役所 ふれあい福祉まつりへ相談員の派遣 | 10月 |
| ⑤千代田区役所 公契約審議会委員の派遣 | 随時 |
| ⑥中央労働基準監督署 労働保険料申告書
受理・相談コーナー 臨時労働保険指導員の派遣 | 6月～7月 |
| ⑦東京労働局 労働保険料申告書
受理・相談コーナー 臨時労働保険指導員の派遣 | 6月～7月 |
| ⑧千代田年金事務所 年金特別アドバイザーの推薦 | 4月～翌年3月 |
| ⑨千代田年金事務所 算定相談コーナー相談員の派遣 | 7月 |
| ⑩労働・社会保険無料街頭相談の開催 | 10月 |
| ⑪行政書士・司法書士・その他の士業との合同相談会 | 随時 |
| ⑫東京しごとセンター年金相談員の派遣 | 4月～翌年3月 |
| ⑬東京会 社労士110番相談員・総合労働相談所相談員・年金相談センター相談員の派遣 | |
| ⑭東京商工会議所 千代田支部 講師・相談員の派遣 | 随時 |
| ⑮東京商工会議所 相談員の派遣 | 随時 |
| ⑯東京都社会保険労務士政治連盟千代田統括支部への協力 | 随時 |
| ⑰東京社会保険労務士協同組合との相互協力 | 随時 |
| ⑱東京SR経営労務センターとの相互協力 | 随時 |
| ⑲社労士成年後見センター東京との相互協力 | 随時 |
| ⑳日本政策金融公庫による労務セミナーへの講師・相談員の派遣 | 随時 |

- ②全国社労士連合会 中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革支援事業への専門家派遣 随時

(6) 関係行政機関等との交流事業

- ①地域の住民及び労働者に対して社会保険制度の理解を深めるため、東京都社会保険労務士政治連盟千代田統括支部と連携して、講師・相談員等の派遣を関係行政機関等に働きかける。
- ②関係行政機関等と相互協力の下で、社労士のアピールに努める。
- ③行政書士会千代田支部、司法書士会千代田支部と無料街頭相談会、相互研修会や厚生事業を行い、交流を深める。

(7) 福利厚生事業

- ①福利厚生の一環として文化体育活動を実施する。
- ②管外研修旅行を開催する。
- ③ボウリング大会を開催する。
- ④同好会の育成を図り、広報活動等により支援する。
- ⑤東京会が主催する厚生事業に、積極的に参加する。

(第4号議案) 令和4年度収入支出予算(案) 承認に関する件

令和4年度 収入支出予算(案)

単位：円

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
前期より繰越	16,097,178	研修費	3,000,000
運営費交付金	13,700,000	会議費	900,000
業務別実務研修交付金	200,000	通信費	800,000
街頭相談交付金	100,000	事業費	2,700,000
区民相談等交付金	50,000	事務費	1,800,000
算定相談交付金	30,000	渉外費	200,000
モニタリング報酬	149,000	広報費	4,000,000
行政名札掲載料	0	交通費	3,000,000
特別研修会受講料	0	厚生費	3,000,000
会報掲載料(政連)	60,000	印刷費	1,500,000
雑収入(受取利息)	1,000	支払手数料	150,000
選挙運営交付金	900,000	慶弔費	200,000
		選挙経費	1,100,000
		予備費	300,000
		小計	22,650,000
		次期繰越	8,637,178
合計	31,287,178	合計	31,287,178

※行政名札掲載料は、中央労働基準監督署、飯田橋公共職業安定所、千代田年金事務所の看板掛け替えに係る費用。

令和4年度 千代田統括支部 役員・委員・協力委員名簿(案)

役 職		開業会員・法人社員	勤務等会員
支 部 長		森 俊介	
副 支 部 長		朝比奈睦明(中央労働基準監督署担当) 橋本敬司(政治連盟・千代田区担当) 酒井典子(ハローワーク飯田橋担当) 春原繁(千代田年金事務所担当) 小室文菜(IT委員会担当) 小高東(広報委員会担当) 今泉浩史(東京都労働相談情報センター担当)	長島裕子(総務委員会・研修委員会担当) 宮崎正雄(厚生委員会担当)
		千代田年金担当副支部長サポーター 横山玲子	
部 会	部 会 長	朝比奈睦明	長島裕子
	副部会長	中西恵津子 長谷川淳一	青山弥生 宮崎正雄
	部会委員		岩崎仁弥 梅本 樹 小澤由紀子 柏本和江 櫻井直樹 富木康雄 中屋雅彦
	協力委員	奥村広美 久保英信 小嶋かつら 小松勝 武井宏美 林孝行 堀拓磨 山崎博幸 吉島哲	青木英一 飯田香津子 岩城理久子 内海功二 小川祐美 篠原一英 下村梨紗 末松弘美 鈴木政司 高木裕子 田口温美 長江俊宏 中村恵美子 沼澤修 馬場一慈 馬場一慈 福田智恵子 藤木則夫 藤田綾子 三木大輔 溝口りん子 向井佳巳 望月美奈子 森下湖依 森田啓太郎 八重樫秋晴 山之内大 山本英樹 横山まり 吉田祐一郎 若山晴美
総務 委員会	委 員 長	長森信行	
	副委員長	金光由美子 後藤武 武内里佳	
	委 員	神宮勝美	櫻井直樹
	協力委員	石橋正紹 大野剛一郎 小津理人 小林伸行 笹尾訓收 富山節子 深井暖 星名真喜子 細川宏美 堀雅美 松井美希子 松本慎也	下村梨紗 三木大輔 森田啓太郎
研修 委員会	委 員 長	片野誠	
	副委員長	澤田省吾	柏本和江
	委 員	深田康弘	岩崎仁弥
	協力委員	石井繁雄 岩瀬昌子 柏木寿人 小林憲一 澤上貴子 高橋健 増山隆司 山村真也子	鈴木政司 高木裕子 藤田綾子 望月美奈子
広報 委員会	委 員 長	十佐近三生	
	副委員長	浅井英憲 帆苅剛	
	委 員		青山弥生
	協力委員	市村公頼 植野幸恵 大宮一成 小田香里 小林清 佐藤嘉人 山内由美子 山本容子	飯田香津子 小川祐美 篠原一英 長江俊宏 馬場一慈 福田智恵子 森下湖依 八重樫秋晴 山本英樹

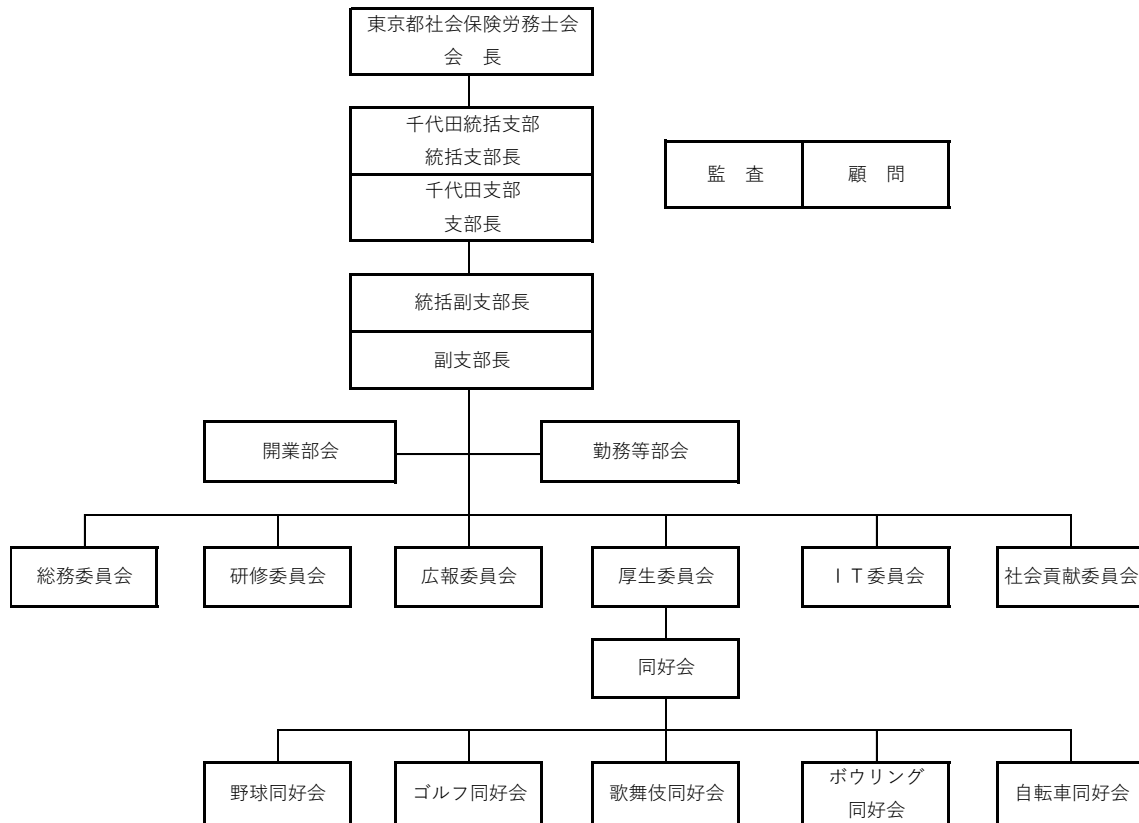
厚生 委員会	委員長		宮崎正雄
	副委員長	岡崎和光	
	委員	増田瑞恵	梅本樹 中屋雅彦
	協力委員	大畑雅弘 木村晃子 中山真由美 西田俊史 本田香織 毎熊典子	青木英一 岩城理久子 末松弘美
I T 委員会	委員長		小澤由紀子
	副委員長	原麻子	
	委員		富木康雄
	協力委員	鳥居哲男 宮田和季 瀧澤紀子	内海功二 沼澤修 溝口りん子 向井佳巳 山之内大 横山まり 若山晴美
社会貢 献委員 会	委員長	小谷富士子	
	副委員長	伊東文子	
	委員		
	協力委員	阿部康博 岩戸左紀 上野孝子 菊池正典 久保田詩織 佐藤美穂子 田村貴美子 横山優子	田口温美 中村恵美子 藤木則夫 吉田祐一郎
監 査		石原美由紀 酒井裕樹	
顧 問		新堀英行 仲野三郎 相馬誠一 金綱久夫 柏木弘文 半沢公一 段下正志 味園公一	
勤務等部会 企画小委員会		委員長：中屋雅彦 副委員長：宮崎正雄 藤田綾子 委 員：飯田香津子 梅本樹 柏本和江 末松弘美 富木康雄 向井佳巳 望月美奈子	

令和4年度 千代田統括支部活動日程 (予定)

	例会・研修会	正副支部長・ 委員長会議	統括支部会議・ 役員会議	広報行事・ 他	厚生行事・ 他
4月		4月19日(火) 如水会館	4月19日(火) 統括支部役員会議 統括支部会議 如水会館		4月19日(火) 交歓懇親会 如水会館
5月	5月18日(水) ZOOMウェビナー	5月16日(月) ZOOM		会報春号発行	
6月	6月23日(木) ZOOMウェビナー	6月16日(木) ZOOM			
7月	7月28日(木) ZOOMウェビナー	7月26日(火) ZOOM		会報夏号発行	
8月	8月23日(火) 会場未定	8月23日(火) 会場未定		新規入会者オリエン テーション (8月下旬頃予定)	
9月	9月14日(水) 会場未定	9月14日(水) 会場未定			勤務等部会主催 情報交流会
10月	10月6日(木) 会場未定	10月6日(木) 会場未定	10月6日(木) 統括支部役員会議 会場未定	無料街頭相談 千代田区福祉祭り 会報秋号発行	10月初旬 管外研修旅行
11月	11月2日(水) 会場未定	11月2日(水) 会場未定	研修・検討会	11月中旬 東商ビジネスフェア	11月下旬 ボウリング大会
12月	12月6日(火) 会場未定	12月22日(木) 会場未定			
1月	1月18日(水) 会場未定	1月18日(水) 会場未定		会報新年号発行	1月25日(水) 賀詞交歓会 赤坂プリンスクラ シックハウス
2月	2月16日(木) 会場未定	2月16日(木) 会場未定		新規入会者オリエン テーション (2月下旬頃予定)	
3月	3月15日(水) 会場未定	3月15日(水) 会場未定	3月15日(水) 統括支部役員会議 会場未定		
4月		4月18日(火) 如水会館	4月18日(火) 統括支部役員会議 統括支部会議 如水会館	会報春号発行	4月18日(火) 交歓懇親会 如水会館

※諸般の事情により、変更となる場合があります

東京都社会保険労務士会 千代田統括支部・千代田支部 組織図



(資料)

東京都社会保険労務士会 千代田統括支部規約

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規約は、東京都社会保険労務士会（以下「東京会」という。）会則（以下「会則」という。）第39条第1項の規定による千代田統括支部の運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(統括支部事務所)

第2条 統括支部の事務所は、東京都千代田区に置く。

(統括支部所属会員)

第3条 統括支部に所属する会員は、会則第7条に定める会員であつて、統括支部の区域内に事務所のあ
る開業社会保険労務士又は勤務先若しくは住所を有する勤務等社会保険労務士とする（以下「所属
会員」という）。

第2章 統括支部の業務

(業 務)

第4条 統括支部は、東京会の会務の運営に関し、東京会と支部との連携の基に、次の業務を行う。
(1) 会則第4条の規定による事業の推進を図るため、統括支部における施策の企画・予算・決算の
承認及び東京会への報告
(2) 東京会及び他の統括支部との連絡調整
(3) 支部活動の支援
(4) 所属会員の品位を保持するための啓蒙及び指導
(5) 所属会員の資質の向上を図るための社会保険労務士業務に関する研修会、講習会の開催
(6) 社会保険労務士業務の改善進歩を図るための調査研究及び実践
(7) 広報活動
(8) 労働・社会保険諸法令に関する調査研究及び提言
(9) 業務関係図書、資料等の斡旋及び配布
(10) 関係行政機関との協働活動の実施
(11) 所属会員の福利厚生活動の実施
(12) その他東京会の目的を達成するために必要な業務

第3章 役 員

(役 員)

第5条 統括支部に次の統括支部役員（以下「役員」という。）を置く。

- | | |
|-----------------|---------|
| (1) 統 括 支 部 長 | 1 名 |
| (2) 統 括 副 支 部 長 | 1 0 名以内 |
| (3) 統 括 支 部 幹 事 | 5 0 名以内 |
| (4) 統 括 支 部 監 査 | 2 名 |

(役員を選出・委嘱及び報告)

第6条 統括支部長は、千代田支部長とし、会長が委嘱する。
2. 統括副支部長は、千代田副支部長の中より統括支部長が指名する。
3. 統括支部幹事は、統括支部会議にて千代田支部役員より選出する。
4. 統括支部監査は、統括支部会議にて千代田支部役員より選出する。
5. 統括支部長及び統括副支部長の選出は、役員の任期が満了する年の1月末までに決定する。
6. 統括支部長は、前項の選出結果について速やかに会長に報告する。

(役員の職務)

第7条 統括支部長は、統括支部の業務を総括し、統括支部を代表するとともに、東京会と支部との連絡
調整に、支部と連携してあたるものとする。
2. 統括支部長は、所属会員の不正防止及び倫理の高揚に努めなければならない。また、不正の疑いの
ある会員に対しては、事情を聴取し、必要があれば注意を促すとともに東京会へ報告する。
3. 統括副支部長は、統括支部長を補佐し、統括支部長に事故あるときはその職務を代行する。
4. 統括支部幹事は、統括支部長の命を受けて統括支部の業務を分担、執行する。
5. 統括支部監査は、統括支部業務の執行ならびに会計を監査し、これを統括支部会議に報告する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、会則第18条の規定を準用する。

(役員の解任及び退任)

第8条の2 役員(統括支部長を除く。)の解任及び退任は、会則第19条の規定を準用する。

第4章 部会及び委員会

(統括支部部会)

第9条 統括支部に、開業会員及び勤務等会員に係る業務を遂行するため、統括支部開業部会及び統括支部勤務等部会(以下「統括支部部会」という。)を設ける。

2. 第3条の規定による統括支部の所属会員は、会則第38条の規定による部会(以下、「東京会部会」という。)の所属に従い、それぞれの統括支部部会に所属するものとする。

3. 各統括支部部会に次の部会役員を置く。

- | | |
|--------------|-------|
| (1) 統括支部部会長 | 1名 |
| (2) 統括支部副部会長 | 4名以内 |
| (3) 統括支部部会委員 | 20名以内 |

4. 統括支部部会長は、統括支部長が指名する。

5. 統括支部副部会長は、支部部会委員より統括支部長が指名する。

6. 統括支部部会委員は、支部部会委員より選出または統括支部長が指名する。

(部会役員の職務)

第9条の2 統括支部部会長は、当該統括支部部会を代表する。

2. 統括支部副部会長は当該統括支部部会長を補佐し、当該統括支部部会長に事故あるときはその職務を代行する。

3. 統括支部部会委員は、当該統括支部部会の業務を執行する。

(統括支部委員会)

第10条 統括支部に次の委員会を置く。また必要に応じてその他の委員会を置くことができる。

- (1) 総務委員会
- (2) 研修委員会
- (3) 厚生委員会
- (4) 広報委員会
- (5) IT委員会
- (6) 社会貢献委員会

2. 前項の委員会の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

第5章 会議

(会議の開催)

第11条 統括支部の会議は、統括支部会議、正副統括支部長・委員長会議、統括支部役員会議及び統括支部部会会議とし、次のとおり開催する。

2. 統括支部会議は第3条で定める所属会員(法人会員を除く。)をもって構成し、定期及び必要に応じ統括支部長が招集し、次の事項を行う。

(1) 毎年度の事業計画・予算及び事業報告・決算の承認について、毎年4月末までに開催し承認を得る。

(2) 役員の任期が満了する年の4月末までに、次の事項を報告又は審議決定する。

- ① 統括支部長選出に関する報告
- ② 統括副支部長選出に関する報告
- ③ 統括支部幹事の承認
- ④ 統括支部監査の承認
- ⑤ 統括支部部会長の承認
- ⑥ 統括支部委員会委員長の承認

(3) 千代田支部における支部会議審議事項の統括支部としての総括

(4) その他必要な事項

3. 正副統括支部長・委員長会議は、統括支部長、統括副支部長及び委員長をもって構成し、必要に応じ統括支部長が招集する。

4. 統括支部役員会議は、役員をもって構成し、必要に応じ統括支部長が招集する。ただし、委員会業務分掌細則第7条第3項に基づき選任された協力委員を除く。

5. 統括支部部会会議は、部会役員をもって構成し、必要に応じ統括支部部会長が招集する。

(統括支部例会)

第12条 所属会員の連絡調整を図るため、必要に応じ統括支部長が招集する。

(会議の議決)

第12条の2 統括支部の会議は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

(会議の通知)

第13条 統括支部長は、統括支部の会議を開催するときは、会議の構成員に対して、会議の日時、場所及び会議の目的、その他必要な事項を記載して、開催する日の7日前までに文書又は電子メールをもって通知するものとする。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではない。

第6章 報告及び稟議

(報告及び稟議等)

第14条 統括支部長は、次の事項について会長に報告する

- (1) 統括支部会議における審議事項及び報告事項
 - (2) 統括支部役員会議及び統括支部部会会議において必要と認めた事項
 - (3) 所属会員の規律違反に関する事項
 - (4) 統括支部長が報告することを必要と認めた事項
2. 統括支部長は、社会保険労務士制度若しくは東京会の会務について会長に稟議し、又は意見を上申することができる。

(東京会役員及び東京会部会役員の出席)

第15条 第11条の規定による統括支部の会議には、必要に応じ東京会役員及び東京会部会役員が出席することができる。

第7章 会 計

(会計)

第16条 交付金等の管理は、統括支部長がこれを行う。

(経費の負担等)

第17条 統括支部の業務は、原則として、東京会からの交付金で行うものとする。

2. 統括支部長は、前項の経費について、統括支部業務費の小科目の区分毎に使用明細及び証拠書類等を東京会に提出するものとする。
3. 前項の書類は、毎年4月15日までに、又は必要に応じ提出するものとする。

第8章 そ の 他

(顧問の委嘱)

第18条 統括支部長は、社会保険労務士制度の改善進歩を図るため、社会保険労務士制度に関し学識経験を有する者の内から統括支部役員会議の議を経て顧問を委嘱することができる。

(分科会及び研究会)

第19条 統括支部部会は、必要に応じ専門分科会又は研究会等を設けることができる。

附 則

- この規約は、平成21年4月1日から施行する。
2. この規約は、平成22年4月15日から変更実施する。
 3. この規約は、平成25年4月12日から変更実施する。
 4. この規約は、平成28年4月12日から変更実施する。

東京都社会保険労務士会 千代田統括支部 委員会業務分掌細則

(目 的)

第1条 この細則は、東京都社会保険労務士会千代田統括支部規約第10条に定める次の委員会の業務分掌について定める。

- (1) 総務委員会
- (2) 研修委員会
- (3) 広報委員会
- (4) 厚生委員会
- (5) IT委員会
- (6) 社会貢献委員会

(総務委員会)

第2条 総務委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 会員の情報管理、連絡に関すること
- (2) 文書の起案、発受信保管等、庶務に関すること
- (3) 関係官庁等渉外に関すること
- (4) 金銭出納、予算、決算等、会計に関すること
- (5) 諸会議の開催
- (6) その他、他の委員会に属さない一切の事項に関すること

(研修委員会)

第3条 研修委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 研修会、講習会等の企画・立案及び開催
- (2) 社会保険労務士業務の改善に必要な調査及び研究
- (3) 社会保険労務士業務に必要な資料、情報等の収集に関すること
- (4) その他教育、調査研究に関すること

(広報委員会)

第4条 広報委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 統括支部会報の企画・立案及び発行に関すること
- (2) 社会保険労務士に必要なPRに関すること

(厚生委員会)

第5条 厚生委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 懇親会等の企画・立案及び開催に関すること
- (2) 管外研修旅行、ボウリング大会等、会員の交流、親睦行事の企画・立案及び開催
- (3) 会員のコミュニケーションに関すること
- (4) 同好会の設置・運営の支援に関すること

(IT委員会)

第6条 IT委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 統括支部ホームページの企画・立案・作成及び運営に関すること
- (2) 統括支部ホームページ・電子メールによる情報伝達及び情報収集に関すること
- (3) 会員のメールアドレス管理に関すること

- (4) 電子申請に関する研修会の開催

(社会貢献委員会)

第7条 社会貢献委員会は、次の事項の業務を行う。

- (1) 社会貢献活動及び社会保険労務士を周知・広報する活動の企画・立案及び運営に関すること
- (2) 学校教育に関すること
- (3) 労働環境モニタリング（労務監査・労務診断）に関すること
- (4) 成年後見に関すること
- (5) 地域事業への参加に関すること

(委員会の構成員)

第8条 各委員会の委員は、統括支部長が統括支部幹事の中から委嘱する。

2. 統括支部長は、各委員の中から委員長及び副委員長3名以内を委嘱する。

3. 第1項の規定にかかわらず、統括支部長が必要であると認める場合は、統括支部会員の中から各委員会の協力委員を委嘱することができる。

(委員会の招集)

第9条 委員会の招集は、委員長が行うものとする。

2. 委員長は、委員会を開催する時は、原則として、開催日の7日以上前に委員会の構成員に通知しなければならない。

(委員会の報告)

第10条 委員長は、委員会を開催したときは、すみやかに以下の事項について、書面にて統括支部長に報告しなければならない。

- (1) 開催日時
- (2) 開催場所
- (3) 出席者氏名
- (4) 会議の内容
- (5) その他必要な事項

附 則

- この細則は、平成21年4月16日から施行する。
2. この細則は、平成25年4月12日から変更実施する。
3. この細則は、平成28年4月12日から変更実施する。

東京都社会保険労務士会 千代田統括支部慶弔金支給基準

統括支部会員に贈与する慶弔金については、以下のとおりとする。

尚、この基準に定める慶弔金の贈与の対象となる事項については、特段の定めがない場合は、全て東京都社会保険労務士会会員慶弔規程を準用する。

1. 統括支部会員が結婚したときは、次の祝金を贈る。10,000円
2. 統括支部会員又はその配偶者が死亡したときは、次の香典を贈る。
 - (1) 会員の場合 20,000円
 - (2) 配偶者（事実上婚姻関係にある者を含む。）の場合 20,000円
3. 統括支部会員が負傷又は疾病のため1か月以上休務するときは、次の見舞金を贈る。10,000円
4. 統括支部会員の事務所又は住居が、不慮の災害（地震によるものを除く。）に遭ったときは、次の見舞金を贈る。20,000円

附 則

- この基準は、平成21年4月16日から施行する。
2. この基準は、平成25年4月12日から変更実施する。

東京都社会保険労務士会
千代田統括支部諸会議に出席する
役員等に対する実費費用弁償基準

役員及び協力委員が諸会議に出席するための実費費用の弁償は、下記のとおりとする。
但し、1日に2回以上異なる会議等に出席する場合の費用の弁償は、1回のみとする。

支給額は、原則として、1回につき 2,000円

附 則

- この基準は、平成21年4月16日から施行する。
2. この基準は、平成25年4月12日から変更実施する。
3. この基準は、令和3年4月20日から変更実施する。

東京都社会保険労務士会
千代田統括支部 同好会運営基準

千代田統括支部同好会の設置及び運営については、以下の基準による。

1. 同好会を設置しようとする場合は、次の各号を参考として、正副統括支部長・委員長会議において審議の上、決めることとする。
 - (1) 広く会員が参加できる。
 - (2) 会員の文化的活動又は健康増進に有益である。
 - (3) その他、社会保険労務士にふさわしいものである。
2. 同好会の会員は、原則として統括支部会員とする。但し、開業会員の事務所職員は、賛助会員として参加することができる。
3. 同好会は、代表世話人及び世話人を若干名選出し、当該氏名を書面をもって厚生委員長を経由して、統括支部長に報告しなければならない。尚、変更の場合は、変更日から原則として1か月以内に統括支部長に報告しなければならない。
4. 同好会の活動は、自主性を重んずるものとする。また、活動に際して事故ある場合は、同好会の責任において処理しなければならない。
5. 統括支部長は、統括支部予算の範囲内で、活動費用の一部を助成できる。
6. 新たに同好会を設置しようとする場合は、原則として10名以上の統括支部会員の賛同者を得て、書面をもって、厚生委員長を経由して統括支部長に申請することとする。
7. 同好会を解散しようとする場合は、代表世話人及び世話人全員の連名により、書面をもって、厚生委員長を経由して、統括支部長に報告しなければならない。

附 則

1. この基準は、平成21年4月16日から施行する。
2. 令和2年3月31日現在において認定する同好会は、次のとおりとする。
 - (1) 野球同好会
 - (2) ゴルフ同好会
 - (3) 歌舞伎同好会
 - (4) 自転車同好会
 - (5) ボウリング同好会
3. この基準は、平成25年4月12日から変更実施する。

東京都社会保険労務士会 千代田支部 規約

(目 的)

第1条 この規約は、東京都社会保険労務士会（以下「東京会」という。）会則（以下「会則」という。）第39条第1項の規定による、千代田支部（以下「支部」という。）の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(支部事務所)

第2条 支部の事務所は、東京都千代田区（以下「区域内」という。）に置く。

(支部所属会員)

第3条 支部所属会員は、東京会の会員であつて、支部の区域内に事務所又は勤務先若しくは住所を有する者（以下「所属会員」という。）とする。

(業 務)

第4条 支部は、東京会の会務の運営に関し、東京会会長（以下「会長」という。）の指示に従い、次の業務を行う。

- (1) 所属会員の品位を保持するための指導及び連絡
- (2) 所属会員の資質の向上を図るための社会保険労務士業務に関する研修会、講習会の開催
- (3) 社会保険労務士業務の改善進歩を図るための調査研究
- (4) 労働・社会保険諸法令に関する調査研究
- (5) 業務関係図書、資料等の斡旋及び配布
- (6) 関係行政機関に対する協力及び連絡
- (7) 所属会員の福利厚生
- (8) その他東京会の目的を達成するために必要な事項

(支部部会)

第4条の2 支部に、支部開業部会及び支部勤務等部会（以下「支部部会」という。）を設ける。
2. 第3条の規定による支部の所属会員は、会則第38条の規定による部会（以下「東京会部会」という。）の所属に従い、それぞれの支部部会に所属するものとする。
3. 支部部会は、前条の規定による業務のうち部会に係るものについて行うものとする。
4. 各部会の主催する事業には、第2項に定める所属部会以外の部会員も参加することができるものとする。

(役 員)

第5条 支部に次の役員（以下「支部役員」という。）を置く。

- (1) 支 部 長 1名
 - (2) 副 支 部 長 10名以内
 - (3) 幹 事 50名以内（支部長、副支部長を含む。）
 - (4) 監 査 2名
2. 前条第3項の業務を遂行するため、各支部部会に次の役員（以下「部会役員」という。）を置く。
- (1) 部 会 長 1名
 - (2) 副 部 会 長 4名以内
 - (3) 部 会 委 員 20名以内

(役員の委嘱及び報告)

第6条 支部長は、所属個人会員の選挙により選出し、選出された者を会長が委嘱する。但し、支部長を辞任した者は、その日をもって理事を辞任するものとする。
2. その他の支部役員は、東京会の理事及び代議員として所属個人会員の選挙により選出された者並びに支部長推薦の幹事については支部長が委嘱する。但し、副支部長については支部長が指名する。
3. 支部長は、前項の役員の委嘱及び解嘱の結果について速やかに会長に報告する。

(役員職務)

第7条 支部長は、支部の業務を統括し、支部を代表するとともに、東京会との連絡調整にあたるものとする。
2. 支部長は所属会員の不正防止に努めなければならない。また、不正の疑いのある会員に対しては、事情を聴取し、必要があれば注意を促すとともに東京会へ報告する。
3. 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
4. 幹事は、支部長の命を受けて支部の業務を分担、執行する。
5. 監査は、支部業務の執行並びに会計を監査し、これを支部会議に報告する。
6. 支部部会長は、当該支部部会を代表する。

7. 支部副部長は当該支部部長を補佐し、当該支部部長に事故あるときは、その職務を代行する。
8. 支部部会委員は、当該支部部会の業務を執行する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、会則第18条の規定を準用する。

(会議の開催)

- 第9条 支部の会議は、支部会議、正副支部長・委員長会議、支部役員会議及び支部部会役員会議とし、次のとおり開催する。
2. 支部会議は、所属会員をもって構成し、定期又は必要に応じ支部長が招集し、次の事項を審議決定し、支部役員の委嘱について支部長が報告する。
 - (1) 支部長の選出
 - (2) 東京会理事候補者の選出
 - (3) 東京会代議員の選出
 - (4) 規約の変更
 - (5) その他必要な事項
 3. 正副支部長・委員長会議は、支部長、副支部長及び委員長をもって構成し、必要に応じ支部長が招集する。
 4. 支部役員会議は、支部役員をもって構成し、必要に応じ支部長が招集する。
 5. 支部部会役員会議は、当該支部部会役員をもって構成し、必要に応じ当該支部部会長が招集する。

(支部例会)

第10条 所属会員の連絡調整を図るため、必要に応じ支部長が招集する。

(会議の通知)

第11条 支部長は、支部の会議を開催するときは、会議の構成員に対して、会議の日時、場所及び会議の目的、その他必要な事項を記載して、開催する日の7日前までに文書又は電子メールをもって通知するものとする。但し、緊急やむを得ない場合は、この限りでない。

(報告及び稟議等)

- 第12条 支部長は、次の事項について会長に報告する。
- (1) 支部会議、支部役員会議及び支部部会役員会議において必要と認めた事項
 - (2) 所属会員の規律違反に関する事項
 - (3) 支部長が報告することを必要と認めた事項
2. 支部長は、社会保険労務士制度若しくは東京会の会務について会長に稟議し、又は意見を上申することができる。

(東京会役員及び東京会部会役員の出席)

第13条 第9条の規定による支部の会議には、必要に応じ東京会役員及び東京会部会役員が出席することができる。

(顧問の委嘱)

第14条 削除

(経費の負担)

第15条 削除

(支部委員会)

第16条 削除

(規約の変更)

- 第17条 規約の変更については、支部会議において出席者の過半数の同意を得なければならない。
2. 東京会支部細則の変更に伴って、規約を変更する必要がある場合は、前項に関わらず変更することができるものとする。

附 則

- この規約は、平成21年4月16日から施行する。
2. この規約は、平成22年4月15日から変更実施する。
3. この規約は、平成25年4月12日から変更実施する。